

13

便利な使いかた

メニュー一覧表	13-2
いろいろな機能を設定する	13-5
メインメニュー画面を変更する	13-17
スケジュール機能を利用する	13-19
目覚ましを利用する	13-30
電卓を利用する	13-33
ICレコーダを利用する	13-34
メモ帳を利用する	13-39
位置情報を利用する	13-43
イヤホンマイクをつなぐ	13-48
指紋センサーの動作を設定する	13-50
データフォルダを活用する	13-53
国際ローミングを利用する （国際ローミング）	13-91
国際電話をかける （ウィルコム国際電話サービス）	13-94
ウィルコムのサービスを利用する	13-95

メニュー一覧表

メニュー	機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ			
	公衆	ワイルド	グループ					
メール	11	受信BOX	○	○	×	-	8-16	
	12	送信BOX	○	○	×	-	8-22	
	13	未送信BOX	○	○	×	-	8-12	
	14	Eメール受信	○	○	×	-	8-14	
	15	Eメール作成	○	○	×	-	8-8	
	16	ライトメール作成	○	○	×	-	8-41	
	17	Eメールアカウント設定	○	○	×	-	8-38	
	18	オプション	○	○	×	-	8-5、32	
	19	オンラインサインアップ	○	×	×	-	8-7	
	10	インターネット設定	○	○	×	-	9-41	
デフォルト	2		○	○	○	-	13-53	
Web	31	公式サイト	○	×	×	-	9-2	
	32	ホーム	○	○	×	-	9-6	
	33	ブックマーク	○	○	×	-	9-13	
	34	インターネット検索	○	○	×	-	9-17	
	35	履歴	○	○	×	-	9-9	
	36	ページメモ	○	○	×	-	9-20	
	37	Web ページを開く	○	○	×	-	9-7	
	38	オプション	○	○	×	-	9-6、31	
	39	インターネット設定	○	○	×	-	9-41	
カミ	4		○	○	○	-	12-1	
機能設定	51	音設定	公衆着信	○	×	○	着信メロディ：パターン1、音量：3、 バイブ：OFF	7-62
			Eメール着信		○	×	着信メロディ：ジングル1、音量：3、 バイブ：OFF、鳴動時間：10秒、バックグラウンド受信通知：ON	
		ライトメール着信				着信メロディ：ジングル2、音量：3、 バイブ：OFF、鳴動時間：10秒		
		オフィス外線着信	×			着信メロディ：パターン4、音量：3、 バイブ：OFF		
		オフィス内線着信				着信メロディ：パターン6、音量：3、 バイブ：OFF		
		オフィス専用線着信				着信メロディ：パターン10、音量：3、 バイブ：OFF		
		効果音選択	○	○	○	キー確認音：パターンA 成功/エラー音：ON 圏外/充電警告音：ON		
	52	日時設定	日時設定	○	○	○	2007年1月1日00:00	1-22
			日時表示設定	○	○	○	画面パターン：大（日本語）、 表示位置：画面中央、色：白	13-8
			日時自動補正	○	○	○	ON	13-8
		保留音選択		○	○	×	送達確認音：ON	7-72
							パツハ：イタリア協奏曲、 試験時の音量3	7-72

機能設定	メニュー	機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ	
		公衆	ワイ	グループ			
機能設定	53 画面設定	壁紙設定	○	○	○	Keyhole-Black	13-57
		画面配色	○	○	○	Modern	13-9
		カレンダー設定	○	○	○	OFF	13-9
		メインディスプレイ	○	○	○	明るさ：レベル3、点灯時間：10秒、消灯時間：60秒後、通話中点灯：OFF、キーライト点灯：ON、卓上充電器充電中点灯：ON、キーロック中点灯：電源キーのみ	13-10
		着信ランプ	○	○	○	電話着信：パターン1、アジュール	13-12
			○	○	×	メール着信：パターン2、ミント	
			○	○	○	スケジュール：パターン3、シャンパン	
			○	○	○	目覚まし：パターン3、カナリア	
			○	○	×	通話中：OFF	
		省電力設定	○	○	○	OFF	13-13
	言語選択	○	○	○	日本語 - Japanese	13-16	
	54 マナー / 留守電	マナー登録	○	○	○	バイブ：ON、 電話着信音量・メール着信音量・目覚まし音量・スケジュール音量・効果音・留守録音：OFF、オートサイレント：OFF	7-67
		受話音量	○	○	○	Vol.4	7-61
		ひそひそ設定	○	○	○	OFF	7-61
		通話録音設定	○	○	○	データフォルダ保存	7-12
		留守録音設定	○	○	×	OFF、応答時間設定：10秒	7-74
		留守録音再生	○	○	×	-	7-75
		留守番電話 (NW)	○	×	×	-	13-96
		安全運転モード設定	○	○	×	OFF	7-69
	55 通信設定	待受モード設定	○	○	○	公衆	14-3
グループ / 転送		×	×	○	-	14-9	
位置情報通知		○	×	×	位置情報通知 LI：OFF、 自動位置情報送出色設定：OFF	13-45	
インターネット設定		○	○	×	-	9-41	
通信中着信		○	○	×	音声、PIAFS 通信中着信：ON、パケット通信中着信：ON	10-18	
データ通信方式		○	○	×	データ通信方式：ベストエフォート型	10-13	
国際ローミング		○	×	×	国・地域 / 事業者選択：日本 / WILLCOM	13-91	
オフィス番号選択		×	○	×	-	14-7	
56 発着信設定	非通知ガード	○	○	×	通知不可能：OFF、ユーザ非通知：OFF、公衆電話発信：OFF	11-3	
	着信拒否登録	○	○	×	未登録	11-4	
	番号通知設定	○	○	×	ON	11-2	
	発信先応答通知	○	○	○	OFF	7-73	
	エニーキーアンサー	○	○	×	OFF	13-16	
	イヤホン自動応答	○	○	×	OFF	13-14	
	サブアドレス	○	○	×	ON	13-15	
	優先発信切替	○	○	○	オフィス、グループ優先	14-6	
	外線発信番号	×	○	×	未登録	14-5	
57 Intellisync	SYNC 接続	○	○	○	電話帳データ：同期、 スケジュールデータ：同期	10-20	
	接続設定	○	○	○	-	-	
	前回 SYNC 日時	○	○	○	-	-	

メニュー		機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ		
		公衆	オフィス	グループ				
電話帳	61	電話帳一覧	○	○	○	表示切替：あかさたな一覧	7-53	
	62	新規登録	○	○	○	—	7-46	
	63	グループ設定	○	○	○	—	7-58	
	64	電話帳ロック	○	○	○	解除	7-59	
	65	シークレット一時表示	○	○	○	非表示	7-60	
	66	登録件数表示	○	○	○	—	7-60	
	67	全件削除	○	○	○	—	7-58	
指紋センサー	71	指紋設定	○	○	○	登録件数：未登録	11-9	
	72	ポインティング 動作設定	ポインティング設定	○	○	○	OFF	13-50
			ポインティング速度設定	○	○	○	6	13-51
	73	マウスカーソル 動作設定	マウスカーソル設定	○	○	×	OFF	13-51
			マウスカーソル速度設定	○	○	×	6	13-52
74	管理者指紋登録	○	○	○	登録件数：未登録	11-24		
アクセサリ	81	電卓	○	○	○	—	13-33	
	82	目覚まし	○	○	○	時刻：0:00、曜日設定：一度きり、 目覚まし音：アラーム 2、音量：音量 3、 パイプ：パターン 3、鳴動時間：30 秒、 スヌーズ：OFF	13-30	
	83	IC レコーダ	○	○	○	—	13-34	
	84	メモ帳	○	○	○	—	13-39	
	85	ユーザ辞書	○	○	○	—	7-23	
	86	自作定型文登録	○	○	○	—	7-38	
	87	USB 充電	○	○	○	高速	13-6	
	88	USB データストレージ	○	○	○	—	10-36	
	89	学習文字クリア	○	○	○	—	7-24	
	80	Java™ アプリ	○	○	×	—	13-73	
8*	スケジュール	○	○	○	通知設定：通知しない、スケジュール 音：アラーム 1、音量：3、パイプ： OFF、鳴動時間：30 秒	13-19		
セキュリティ	91	S ダイアルロック	○	○	○	OFF	11-14	
	92	暗証番号変更	○	○	○	0000	11-11	
	93	メモリ使用状況 / 全削除	○	○	○	—	13-88	
	94	リモートロック	○	○	×	許可パスワード登録：—、 サブアドレス起動：OFF、 ライトメール起動：OFF	11-16	
	95	リセット	○	○	○	—	11-33	
	96	オートダイアルロック	○	○	○	OFF	11-15	
	97	ロック設定	○	○	○	すべて OFF	11-22	
	98	管理者パスワード変更	○	○	○	0000	11-25	
	99	管理者ロック*	○	×	×	OFF (先頭一致発信許可：未登録)	11-24	

○：機能を使うことができます。

×：機能を使うことができません。

※ USB 制限については、公衆、オフィスおよびグループモードで機能を使うことができます。

お知らせ

- メニュー名の左の数字は、画面上のメニュー番号を表します。待ち受け画面で  に続けてその番号を押すことで、そのメニューを実行することができます。例えば「受信BOX」の数字は「11」なので、   を押すことで表示することができます。

いろいろな機能を設定する

プロフィールを表示する

プロフィールとして、本電話機の公衆の電話番号、オフィスモードのときのオフィス番号、自分の名前、フリガナ、Eメールアドレス、および住所などを記録するメモを表示できます。このうち公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレス以外はユーザが登録します。

プロフィールを登録する

- 1 待ち受け画面で を押す
- 2 (編集) を押す
- 3 で入力する項目を選択し、
 を押す

- : 名前を入力します。
- : フリガナを入力します。
- : Eメールアドレスを入力します。
- : 住所などのメモを入力します。

次の項目が入力・設定できます。

- ▶ 名前とフリガナを入力する
(※ 同一ページ内です。)
- ▶ Eメールアドレスを入力する
(※ 13-6 ページ)
- ▶ メモを入力する (※ 13-6 ページ)

■名前とフリガナを入力する

1 名前を入力する

全角 16 文字 (半角 32 文字) まで、フリガナは半角 32 文字まで入力できます。「文字を入力する」(※ 7-19 ページ)

- 4 必要に応じて手順 3 を繰り返し、各項目を入力・設定する

5 (登録) を押す

プロフィールが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- には、本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
- には、「オフィス番号選択」で選択したオフィス番号が表示されます。
- には、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。
- 公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスは、グレー表示されており編集できません。

2 を押す

入力した名前の読み (フリガナ) が表示されます。

▶ フリガナを修正するには

で修正した箇所にはカーソルを移動し、 で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」(※ 7-19 ページ)

3 を押す

■メールアドレスを入力する

メールアドレスを最大3件まで入力できます。また、半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」(※7-19ページ)

1 アドレスを入力する

2 を押す

3 ~ のいずれかを押してアドレス種別を選択する

1件登録されると2件目のアドレス入力項目にカーソルが移動します。最大3件まで続けて登録できます。

■メモを入力する

住所などをメモとしてプロフィールに入力できます。

1 メモを入力する

全角50文字(半角100文字)まで入力できます。「文字を入力する」(※7-19ページ)

2 を押す

プロフィールを表示する

登録してある「プロフィール」を表示します。

1 待ち受け画面で を押す

2 で表示したいアイコンを選択する

アイコンを選択すると、登録された情報が表示されます。

- : 本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
- : オフィス番号が表示されます。未登録の場合は「未登録」と表示されます。
- : オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。オンラインサインアップをしていない場合はアイコンは表示されません。
-  ~ : メールアドレスが表示されます。メールアドレスが未登録の場合はアイコンは表示されません。

: メモが表示されます。 (確認)を押すと、メモの全文が表示されます。メモが未登録の場合はアイコンは表示されません。

お知らせ

- 「国際ローミング」が設定されている場合、「電話番号」は「国際ローミング情報」の設定番号が表示され、アイコンの最後に「」(登録日時)が表示されます。「国際ローミング情報」の設定番号が未登録の場合、「」は表示されません。「国際ローミング」を利用する(国際ローミング)(※13-91ページ)
- 国際ローミングの電話番号を表示しているとき、 (国内)を押すと、国内の電話番号が表示されます。 (RM)を押すと、国際ローミングの電話番号の表示に戻ります。

USBで充電する

USBケーブルでパソコンと接続中に充電できます。

USBで充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定すると「低速」のときと比べて短時間で充電できますが、パソコンの消費電流が多くなります。

USB充電を設定する

1 待ち受け画面で を押す

▶ (低速) を押すと

USB充電が低速に設定され、「設定しました」と表示されます。

2 ~ のいずれかを押す

▶ (高速) を押すと

USB充電が高速に設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ (OFF) を押すと

USB充電が「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「高速」に設定されています。
- 充電時間は、「高速」の場合約3時間、「低速」の場合約20時間です。本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。
- 接続するパソコンによっては、「高速」に設定していても充電に時間がかかったり、充電できないこともあります。本電話機の電源を切った状態でも同様です。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなることがあります。本電話機の電源を切っても同様に本電話機の電池を消費します。
- バッテリー内蔵のノートパソコンをコンセントに接続しない状態で使用する場合、ノートパソコンの動作時間は、「低速」に設定したときのほうが「高速」に設定したときと比べて長くなります。

USBケーブルを接続して充電する

USBケーブルで、本電話機とパソコンを接続して充電します。「パソコンと接続する」(≪10-2ページ)パソコンと接続して充電するには、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。「データ通信ソフトをインストールする」(≪10-4ページ)

1 本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続する

「USB充電」が「高速」の場合は「」が、「低速」の場合は「」が表示され、充電が開始されます。充電が完了すると「」「」は消えます。

お知らせ

- USB接続後、本電話機とパソコンが相互に認識されると「」が表示され、「データ通信ON USB充電は 高速(低速/OFF)です」と表示されます。「」が表示されない場合でも「」または「」が表示されていれば充電は行われています。
- 電池パックを外した状態で本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBハブを使用している充電には対応していません。必ずパソコンのUSBポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もしかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機をUSBケーブルで接続したとき、画面に「」または「」が点灯した後「」が点灯し、再度「」または「」が点灯することがありますが、故障ではありません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。

日時表示を設定する

待ち受け画面に表示する日時表示を設定します。日時表示のパターンは6種類あり、表示位置や色を任意に設定できます。

1 待ち受け画面で を押す

2 (日時表示設定) を押す

3 ~ のいずれかを押す

▶ (大 (日本語)) を押すと

日付が日本語表示になり、時刻が大きく表示されます。

▶ (大 (英語)) を押すと

日付が英語表示になり、時刻が大きく表示されます。

▶ (中 (日本語)) を押すと

日付が日本語表示になり、時刻が小さく表示されます。

▶ (中 (英語)) を押すと

日付が英語表示になり、時刻が小さく表示されます。

▶ (小 (日本語)) を押すと

日付が日本語で表示されます。

▶ (小 (英語)) を押すと

日付が英語で表示されます。

▶ (OFF) を押すと

日時は表示されません。

選択した画面パターンがプレビュー表示されます。

▶ プレビュー表示された画面パターンを変更するには

で前のパターン、 で次のパターンが表示されます。

4 で画面パターンの表示位置を指定する

表示可能な領域内であれば日時表示位置を移動できます。日時表示位置を画面の最下部に移動すると、ガイダンス表示の後ろに表示されます。

短く押す：2dot ずつ移動

約1秒以上押す：10dot ずつ移動

5 (色) で表示色を選択する

表示色は10色用意されています。 (色) を押すごとに表示色が変わりますので、お好みの色が選択できます。

▶ 表示位置と色を元に戻すには

(リセット) を押します。表示位置は画面中央、色は「白」に戻ります。

6 を押す

日時表示が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、画面パターンは「大 (日本語)」、表示位置は画面中央、色は「白」に設定されています。
- 壁紙にカレンダーを表示しているときは、日時は表示されません。
- 表示位置を決定する前に着信などの割り込みが入ると、割り込み終了後、待ち受け画面に戻ります。最初から設定してください。

日時自動補正を設定する

日時自動補正を「ON」に設定すると、パケット通信開始時にネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の日時を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合、本機能を「OFF」に設定します。

1 待ち受け画面で を押す

2 (日時自動補正) を押す

3 (ON) を押す

日時自動補正が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 日時自動補正を解除するには

日時自動補正設定時に (OFF) を押します。

日時自動補正が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- ネットワーク側と本電話機の時刻に約30秒以上のずれがあると自動補正されます。
- 音声通話やPIAFSによる通信時には自動補正されません。

画面の配色を設定する

ディスプレイの背景色などのパターンを選択できます。

1 待ち受け画面で を押す

2 (画面配色) を押す

3 ~ のいずれかを押す

画面配色には4つのパターンがあります。 でパターンを選択すると、それぞれの画面配色のパターンを確認できます。

~ のいずれかを押すと画面配色が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「Modern」に設定されています。

カレンダーを設定する

待ち受け画面にカレンダーやスケジュールを表示できます。「スケジュール機能を利用する」(※P 13-19 ページ)

1 待ち受け画面で を押す

2 (カレンダー設定) を押す

3 でパターンを選択する

カレンダーには10パターンがあり、 または 、 でパターンを切り替えることができます。

▶ パターンを一覧表示するには

(一覧) を押すと、パターンの一覧が表示されます。 ~ のいずれかを押すと選択したカレンダーのパターンが設定され、「設定しました」と表示されます。この場合、手順4に進む必要はありません。

4 を押す

カレンダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 待ち受け画面に壁紙が設定されているときは、壁紙の上にカレンダーが表示されます。「画像データを壁紙に設定する」(※P 13-57 ページ)

バックライトを設定する

ボタンを押したときに、ボタンと画面のバックライトを点灯するかどうか設定できます。

明るさを設定する

本電話機が動作中のときの、画面の明るさを設定できます。動作が終了してから、「点灯時間」で設定されている時間が経過すると、自動的に「レベル1」の明るさになります。

1 待ち受け画面で **MENU** **5** **3** **4** を押す

2 **1** (明るさ) を押す

3 **1** ~ **4** のいずれかを押す

明るさには4つのパターンがあります。**1** でパターンを選択すると、それぞれの明るさのパターンを確認できます。

1 ~ **4** のいずれかを押すと明るさが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「レベル3」に設定されています。

点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、「明るさ」で設定されている、画面の明るさのレベルを保持する時間を設定できます。

1 待ち受け画面で **MENU** **5** **3** **4** を押す

2 **2** (点灯時間) を押す

3 **0** ~ **9** で点灯時間を入力する

5秒～59秒までで入力できます。**1** で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

4 **←** を押す

点灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

消灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

1 待ち受け画面で **MENU** **5** **3** **4** を押す

2 **3** (消灯時間) を押す

3 **1** ~ **3** のいずれかを押して消灯時間を選択する

選択した消灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「60秒後」に設定されています。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。

通話中点灯を設定する

通話中のバックライトの設定ができます。「ON」に設定すると、通話開始から「点灯時間」が経過したあとも、電話を切るまで「レベル1」の明るさで点灯し続けます。

1 待ち受け画面で **[MENU]** **[5.点灯]** **[3.オフ]** **[4.ON]** を押す

2 **[4.ON]** (通話中点灯) を押す

3 **[1.点灯]** (ON) を押す

通話中点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 通話中点灯を解除するには

通話中点灯設定時に **[2.オフ]** (OFF) を押します。通話中点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

キーライト点灯を設定する

キーライト(ボタンのバックライト)点灯の設定ができます。「ON」に設定すると、本電話機の動作時にキーライトが点灯します。本電話機の動作が終了してから、キーライトが消灯するまでの時間は、「点灯時間」で設定されている時間と同じです。

1 待ち受け画面で **[MENU]** **[5.点灯]** **[3.オフ]** **[4.ON]** を押す

2 **[5.点灯]** (キーライト点灯) を押す

3 **[1.点灯]** (ON) を押す

キーライト点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ キーライト点灯を解除するには

キーライト点灯設定時に **[2.オフ]** (OFF) を押します。キーライト点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。

卓上充電器での充電中の点灯を設定する

卓上充電器で充電しているときのバックライトの点灯を設定することができます。「ON」に設定すると、本電話機を卓上充電器に置いてもバックライトはレベル1の明るさで点灯を続けます。

1 待ち受け画面で **[MENU]** **[5.点灯]** **[3.オフ]** **[4.ON]** を押す

2 **[6.卓上充電器充電中点灯]** を押す

3 **[1.点灯]** (ON) または **[2.オフ]** (OFF) を押す

卓上充電器での充電中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- バックライトを消灯した状態で卓上充電器に置いた場合は、点灯しません。

キーロック中の点灯を設定する

キーロック中のバックライトの点灯を設定することができます。「ボタン操作をロックする(キーロック)」(※11-13ページ)

1 待ち受け画面で **MENU** **5** **3** **4** を押す

2 **7** (キーロック中点灯) を押す

3 **1** ~ **3** のいずれかを押す

キーロック中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **1** (全てのキー) を押すと

キーロック中、消灯しているときに何かキーを押すとレベル1の明るさで点灯します。

▶ **2** (電源キーのみ) を押すと

キーロック中、消灯しているときに **2** を押すとレベル1の明るさで点灯します。

▶ **3** (OFF) を押すと

キーロック中はどのキーを押しても点灯しません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「電源キーのみ」に設定されています。

着信ランプを設定する

イルミネーションを設定する

電話着信、メール着信、スケジュールの通知、目覚まし、および通話中のときの着信ランプのイルミネーション(点滅パターン)を設定できます。

1 待ち受け画面で **MENU** **5** **3** **5** を押す

2 **1** (イルミネーション) を押す

3 **1** ~ **5** のいずれかを押す

▶ **1** (電話着信) を押すと

電話着信時のイルミネーションが設定されます。

▶ **2** (メール着信) を押すと

メール着信時のイルミネーションが設定されます。

▶ **3** (スケジュール) を押すと

スケジュールの通知時のイルミネーションが設定されます。

▶ **4** (目覚まし) を押すと

目覚まし鳴動時のイルミネーションが設定されます。

▶ **5** (通話中) を押すと

通話時のイルミネーションが設定されます。

4 **1** ~ **4** のいずれかを押す

点滅周期には3つのパターンがあります。**1**でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

5 **1** ~ **8** のいずれかを押す

色には8つのパターンがあります。**1**でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

1 ~ **8** のいずれかを押すとイルミネーションが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、パターンと色は次のように設定されています。
電話着信 : パターン1、アジュール
メール着信 : パターン2、ミント
スケジュール : パターン3、シャンパン
目覚まし : パターン3、カナリア
通話中 : OFF

リマインダーを設定する

不在着信やメール受信があったときなどに、着信ランプの点滅でお知らせします。

1 待ち受け画面で **MENU** **5.点滅** **3.点滅** **5.点滅** を押す

2 **2.点滅** (リマインダー) を押す

3 **1.点滅** ~ **3.点滅** のいずれかを押す

点滅周期には3つのパターンがあります。**1.点滅** でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

4 **1.点滅** ~ **8.点滅** のいずれかを押す

色には8つのパターンがあります。**1.点滅** でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

1.点滅 ~ **8.点滅** のいずれかを押すとリマインダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ 点滅中の着信ランプを消すには

ボタンを何か1つ押すと、着信ランプが消えます。ただし、待ち受け画面にオフィスのショートメッセージが表示されているときは、着信ランプが消えません。この場合、**OFF** を押すと、ショートメッセージの表示が消え、同時に着信ランプも消えます。また、キーロック中、Sダイヤルロック中も着信ランプが消えません。

「ボタン操作をロックする (キーロック)」(※ 11-13 ページ)

「ダイヤルをロックする (Sダイヤルロック)」(※ 11-14 ページ)

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターン1」で「カラフル」に設定されています。

省電力モードを設定する

電池パックの消費を抑えるために画面の消費電力等を節約するように設定できます。

省電力モードを設定する

省電力モードを「ON」に設定すると、消費電力が節約されます。

1 待ち受け画面で **MENU** **5.点滅** **3.点滅** を押す

2 **6.点滅** (省電力設定) を押す

3 **1.点滅** (ON) または **2.点滅** (OFF) を押す

▶ **1.点滅** (ON) を押すと

省電力モードが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **2.点滅** (OFF) を押すと

省電力モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 省電力モードの設定内容は変更できません。「省電力モードの内容を変更する」(※ 13-14 ページ)
- 省電力モードを「ON」にしたときは、ディスプレイの設定よりも優先されます。「バックライトを設定する」(※ 13-10 ページ)
- 省電力モードを「ON」にしたときは、画面が消灯時、ポインティング設定を「ON」に設定していても、ポインティング動作はしません。一度、ボタンを何か押すと、画面が点灯してポインティング動作が行えるようになります。「ポインティングに使用するかどうかを設定する」(※ 13-50 ページ)

省電力モードの内容を変更する

省電力モードが「ON」のときの、日時表示、バックライトの明るさ、点灯時間、消灯時間、通話中点灯、キーライト点灯、リマインダーを設定します。

1 待ち受け画面で **MENU** **5** **3 OFF** **6** を押す

2 **ON** を選択する

3 **MAA** (編集) を押す

4 **1** ~ **7** のいずれかを押し、設定を行う

次の項目が設定できます。

▶ **1** (日時表示設定)

「日時表示を設定する」(※13-8ページ)

▶ **2** (明るさ)

「明るさを設定する」(※13-10ページ)

▶ **3** (点灯時間)

「点灯時間を設定する」(※13-10ページ)

▶ **4** (消灯時間)

「消灯時間を設定する」(※13-10ページ)

▶ **5** (通話中点灯)

「通話中点灯を設定する」(※13-11ページ)

▶ **6** (キーライト点灯)

「キーライト点灯を設定する」(※13-11ページ)

▶ **7** (リマインダー)

「リマインダーを設定する」(※13-13ページ)

5 必要に応じて手順4を繰り返し、各項目を設定する

6 **MAA** (登録) を押す

省電力モードの内容が設定され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「日時表示設定」は「OFF」、「明るさ」は「レベル1」、「点灯時間」は「5秒」、「消灯時間」は「60秒」、「通話中点灯」は「OFF」、「キーライト点灯」は「OFF」、「リマインダー」は「OFF」に設定されています。

イヤホン自動応答を設定する

電話がかかってきたときに、イヤホンマイクで自動的に電話を受け取ることができるように設定できます。本機能を「ON」に設定すると、着信音が約5秒鳴った後に、イヤホンマイクで自動的に電話を受け取ることができます。

1 待ち受け画面で **MENU** **5** **6** を押す

2 **6** (イヤホン自動応答) を押す

3 **1** (ON) を押す

イヤホン自動応答が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ イヤホン自動応答を解除するには

イヤホン自動応答設定時に **2** (OFF) を押します。イヤホン自動応答が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 「留守録音設定」が0～5秒に設定されている場合は、「留守録音設定」が優先されます。
- 本機能を「ON」に設定していても、着信時にイヤホンマイクを装着した場合は、自動応答しません。
- 本機能を「ON」に設定していても、「安全運転モード」が設定されている場合、イヤホンマイクによる通話はできません。
- 本機能を「ON」に設定していると、着信時にイヤホンマイクを抜いても自動応答します。
- 着信音はスピーカから聞こえます。イヤホンからは聞こえません。
- スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチで電話を受けたり切ったりできます。

サブアドレスを設定する

ISDN回線は、1本の回線に複数の端末を接続できるため、端末には通常の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。電話番号をダイヤルした後、**[X]**を押してサブアドレスをダイヤルすると、希望する端末だけ呼び出せます。

ISDN端末のサブアドレスにダイヤルする場合、本機能を「ON」に設定しておく必要があります。

1 待ち受け画面で **[MENU]** **[5]** **[6]** を押す2 **[7]** (サブアドレス) を押す3 **[1]** (ON) を押す

サブアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ サブアドレス設定を解除するには

サブアドレス設定時に **[2]** (OFF) を押します。サブアドレス設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定すると、電話番号+**[X]**に続く番号をサブアドレス情報として発信します。「OFF」に設定すると、電話番号+**[X]**+番号を電話番号情報として発信します。
- サブアドレスは、「公衆モード」および「オフィスモード」で有効です。「グループモード」および「転送モード」では利用できません。
- 「オフィスモード」時、**[4]**のあとに電話番号をダイヤルして電話をかけると、**[X]**+サブアドレスを電話番号として発信します。この場合、ご希望の端末に直接電話をかけることはできません。
- 「オフィスモード」時、オフィスシステム(PBX)によってはサブアドレスによる呼び出しができないことがあります。

エニーキーアンスーを設定する

電話がかかってきたときに、以外のボタンを押しても電話に出られるように設定できます。本機能を設定すると、、、、、～、、、、、を押しても電話に出られるようになります。

1 待ち受け画面で    を押す

2  (エニーキーアンスー) を押す

3  (ON) を押す

エニーキーアンスーが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ エニーキーアンスー設定を解除するには

エニーキーアンスー設定時に  (OFF) を押します。エニーキーアンスー設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定しても、、、 では電話に出られません。

英語表示にする

各機能の表示を英語表示に設定できます。

1 待ち受け画面で    を押す

2  (言語選択) を押す

3  (英語-English) を押す

英語表示に設定され、「Set」と表示されます。

▶ 英語表示を解除するには

言語選択設定時に  (日本語-Japanese) を押します。日本語表示に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「日本語-Japanese」に設定されています。

メインメニュー画面を変更する

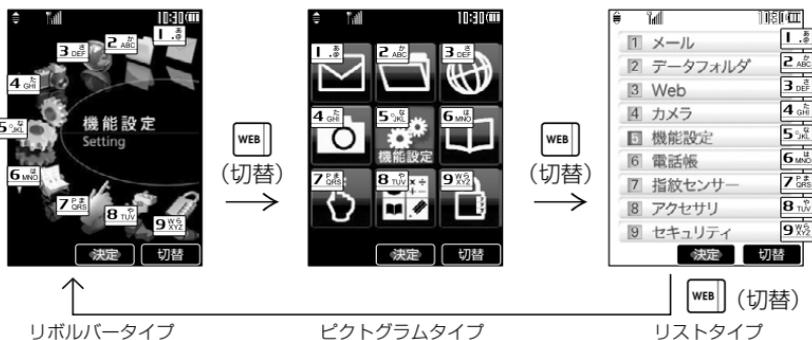
メインメニュー画面を切り替える

メインメニュー画面の3パターンのデザインを切り替えることができます。

1 待ち受け画面で **MENU** を押す

2 **WEB** (切替) を押す

WEB (切替) を押すごとに、メインメニュー画面のデザインが切り替わります。



図で示した **1** ~ **9** の番号に対応する項目は、下記のとおりです。

番号	項目
1	メール
2	データフォルダ
3	Web
4	カメラ
5	機能設定
6	電話帳
7	指紋センサー
8	アクセサリ
9	セキュリティ

お知らせ

- お買い上げ時には、リポルバータイプに設定されています。
- リストタイプの色は、「画面配色」が「Modern」または「Living room」のときは白、「Rose」または「Metal」のときは黒になります。「画面の配色を設定する」(※ 13-9ページ)
- メインメニューは  または  で表示しますが、本書の説明では  のみの表記で統一しています。

スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、通知音やバイブレータでお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダーを表示し、スケジュールを確認することができます。

1 待ち受け画面で または を押す

当月のカレンダーが表示されます。その日の日付には下線が表示されます。スケジュールが登録されている日付の右横には、登録件数の数だけ赤い点が表示されます。ただし、3件を超える場合でも3個しか表示されません。

カレンダーの下には、カーソルがある日付のスケジュールの時刻と内容が表示されます。



2 スケジュールを確認したい日にカーソルを移動する

カーソルを合わせた日のスケジュールがカレンダーの下に表示されます。

-  : 翌日に移動します。
-  : 前日に移動します。
-  : 前週に移動します。最上段にカーソルがあるときは、前月の最終の同曜日に移動します。
-  : 翌週に移動します。最下段にカーソルがあるときは、翌月の最初の同曜日に移動します。
-  : 前月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。
-  : 翌月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。

▶ スケジュールの内容を表示するには

「スケジュールの内容を表示する」(P.13-24ページ)

お知らせ

- カーソルを移動するボタンを約1秒以上押し続けると高速スクロールします。
- 未確認のスケジュールがある日には、緑色の枠が表示されます。
- カレンダーは2000年01月01日から2099年12月31日まで表示されます。
- 祝日データは2000年から2020年までの分を収録しています。カレンダー上で祝日にカーソルを合わせると、祝日の名称がカレンダーの下に表示されます。
- 「カレンダー設定」で「スケジュールカレンダー」を選択すると、待ち受け画面にスケジュール入りのカレンダーを表示することができます。「カレンダーを設定する」(P.13-9ページ)

指定した日や今日にジャンプする

カレンダー画面から指定の年月日やその日にカーソルを移動することができます。

1 カレンダー画面で (メニュー) を押す

▶ 今日にジャンプするときは (今日) を押します。

2 サブメニューで (日付ジャンプ) を押す

4 を押す

指定した日を含む月のカレンダーが表示されます。カーソルは、指定した日に移動します。

3 ~ で移動先の年月日を入力する

で、入力したい箇所にカーソルを移動できます。

スケジュールを登録する

カレンダーを表示し、任意の日時に、最大1,000件までスケジュールを登録できます。カレンダーの日付は2000年01月01日から2099年12月31日まで選択できます。

スケジュールを登録する

1 カレンダー画面で登録したい日にカーソルを移動する

▶ 内容を入力する (P.13-21ページ)

▶ 通知設定を入力する (P.13-21ページ)

「カレンダーを表示する」(P.13-19ページ)

2 (新規) を押す

4 必要に応じて手順4を繰り返し、各項目を入力・設定する

3 で入力する項目を選択し、 を押す

5 (登録) を押す

次の項目が入力・設定できます。

▶ 日時を入力する (P.13-21ページ)

スケジュールが登録され、「登録しました」と表示されます。

▶ 場所を入力する (P.13-21ページ)

■日時を入力する

用件の日付、開始時刻、終了時刻を入力することができます。

1 ~ で「日付」を入力する

「日付」には選択した日付がセットされています。必要に応じて変更します。 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

2 でカーソルを「開始時刻」に移動する

3 ~ で「開始時刻」を入力する

00:00から23:59までで入力します。 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

4 を押す

5 ~ で「終了時刻」を入力する

開始時刻と同じか、それ以降の時間を入力します。日をまたがる時刻設定はできません。

▶ 「終日」に設定するには

 (終日) を押します。

6 を押す

■場所を入力する

用件の場所を入力することができます。

1 場所を入力する

全角27文字(半角54文字)まで入力できます。「文字を入力する」(≪7-19ページ)

2 を押す

■内容を入力する

用件の内容を入力することができます。

1 内容を入力する

全角45文字(半角90文字)まで入力できます。「文字を入力する」(≪7-19ページ)

2 を押す

■通知設定を入力する

スケジュールを通知するように設定できます。通知するよう設定すると、スケジュールの一覧画面に「△」が表示されます。

1 ~ のいずれかを押す

▶ (通知する) を押すと

スケジュールの開始時刻になったら通知します。

▶ (事前通知する) を押すと

「事前通知」画面が表示されるので、事前に通知する時間を5分から99分までの間で1分単位で入力し、 を押します。 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

▶ (通知しない) を押すと

スケジュール通知は行いません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」は「通知しない」に設定されています。
- お買い上げ時には、「事前通知」の時間は「5分前」に設定されています。
- 通知時刻になると、該当するスケジュールが画面に表示されます。スケジュール音やバイブレータを設定すると、音やバイブレータでも知ることができます。「スケジュール音を設定する」(※同じページ内です。)
- スケジュールを登録するには、あらかじめ本電話機の日時を設定しておきます。「日時を設定する」(※1-22ページ)
- スケジュールが1,000件登録されていると、新規登録はできません。
- スケジュール登録中に、電話着信、目覚まし、およびスケジュールの割り込みがあったときは、各機能終了後、スケジュール登録中の画面に戻ります。引き続き文字入力が行えます。

スケジュール音を設定する

スケジュールを通知するときに、音を鳴らしたり、バイブレータを振動させたりすることができます。

1 カレンダー画面で  (メニュー) を押す

次の項目が入力・設定できます。

▶  (スケジュール音) (※同じページ内です。)

2  (スケジュール音設定) を押す

▶  (音量) (※13-23ページ)

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

▶  (バイブ) (※13-23ページ)

3  ~  で設定したい項目を選択し、
入力・設定する

▶  (鳴動時間) (※13-23ページ)

(スケジュール音)

スケジュールを通知するときのサウンドを設定できます。

1  ~  のいずれかを押す

▶  (固定サウンド) を押すと

固定サウンドの中からスケジュール音を選択します。

 でスケジュール音を選択し、 を押します。

スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶  (データフォルダ) を押すと

データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、スケジュール音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

「全データ表示」「サウンドデータ」「録音データ」「ユーザーデータ」または「その他データ」を選択します。

 でスケジュール音を選択し、 を押します。

スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶  (microSD) を押すと

microSDカードに保存されているサウンドデータの中から、スケジュール音を選択します。サウンドデータが保存されているmicroSDカードが装着されていなければ、この項目は選択できません。

「サウンドデータ」「録音データ」「PCデータ」「ユーザーデータ」「その他データ」または「著作権ありデータ」を選択します。 でスケジュール音を選択し、 を押します。

「本体へコピーし設定します よろしいですか?」と表示されるので、で「Yes」を選択してを押します。「コピー中 microSDを抜かないで下さい」と表示されてサウンドデータがデータフォルダにコピーされます。コピー終了後、スケジュール音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ メロディを聞くには

でメロディを選択して（再生）を押すと、メロディが再生されます。この場合、で次のメロディ、で前のメロディを再生します。再生を終了するには、（停止）またはを押します。

▶ 音量を調節するには

メロディ再生中に、で音量の調節ができます。

■ (音量)

スケジュールを通知するときの音量を設定できます。

1 (再生) を押す

スケジュール音が再生されます。再生を停止するときは、（停止）を押します。

2 で音量を選択し、 を押す

音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

■ (パイプ)

スケジュールを通知するときのパイプレータのパターンを設定できます。パイプレータには6つのパターンがあります。

1 ~ のいずれかを押す

パターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ パイプパターンを確認するには

でパターンを選択すると、そのパイプパターンを確認できます。

■ (鳴動時間)

スケジュールを通知するときの音やパイプレータの鳴動時間を設定できます。

1 ~ で鳴動時間を入力する

1秒～60秒までの間で1秒単位で入力できます。で入力したい箇所カーソルを移動できます。

2 を押す

鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」の「スケジュール音」は「アラーム1」、「音量」は「Vol.3」、「パイプ」は「OFF」、「鳴動時間」は「30秒」に設定されています。
- 「通知設定」で、「通知する」のときは開始時刻に、「事前通知する」のときは通知設定時刻になると、画面にスケジュールが表示されます。「通知されたスケジュールの内容を確認する」(≪P.13-25ページ)
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後にスケジュールが通知されます。

休日を設定する

スケジュールのカレンダーで任意の日を選択し、休日として設定できます。土日も選択できます。上限はありません。

1 カレンダー画面で、休日を設定する日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューで (休日設定) を押す

選択した日付が休日に設定され、「設定しました」と表示されます。

休日設定された日付は赤色で表示されます。

▶ 休日設定を解除するには

休日設定された日付にカーソルを合わせて  (メニュー) を押し、 (休日設定解除) を押します。休日設定が解除され、「解除しました」と表示されます。休日設定が解除されると、日付の色は元の色に戻ります。

スケジュールの内容を表示する

スケジュールは、1ヶ月のカレンダー上で表示するだけでなく、1日ごとや1週間ごとの一覧、全スケジュールの一覧を表示することができます。通知されたスケジュールを確認したり、登録件数を確認することもできます。

1 日分のスケジュールを表示する

1 カレンダー画面で、スケジュールを表示する日付にカーソルを移動する

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 を押す

選択した日付のスケジュールの一覧が表示されます。

▶ 一日に7件以上のスケジュールがあるときは

 で前ページが、 で次ページが表示されます。

3 でスケジュールを選択し、 (詳細) を押す

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

お知らせ

- スケジュールの一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- スケジュールの一覧画面では、 で翌日の、 で前日のスケジュールが表示されます。

1 週間分のスケジュールを表示する

1 カレンダー画面で、スケジュールを表示する週にカーソルを移動する

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューで (週間スケジュール) を押す

その週(日曜日から土曜日まで)のスケジュール一覧が表示されます。

▶ 一日に7件以上のスケジュールがあるときは

 で前ページが、 で次ページが表示されます。

3 でスケジュールを選択し、 (詳細) を押す

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

お知らせ

- スケジュール一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- 週間スケジュール一覧では、 で次の週の、 で前の週のスケジュールが表示されます。

全スケジュールを表示する

登録されているスケジュールをすべて表示することができます。

1 カレンダー画面で (メニュー) を押す

「カレンダーを表示する」(※ 13-19ページ)

▶ 7件以上のスケジュールがあるときは

 で前ページが、 で次ページが表示されます。

2 サブメニューで (スケジュール一覧) を押す

カレンダーのカーソル位置以降で直近のスケジュールを先頭に、スケジュールの一覧が表示されます。

3 でスケジュールを選択し、 (詳細) を押す

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

通知されたスケジュールの内容を確認する

スケジュールの「通知設定」が「通知する」または「事前通知する」の場合、通知の時刻になるとバックライトが点灯し、スケジュールの詳細画面が表示され、設定に応じてスケジュール音やパイプレータが鳴動し、着信ランプのイルミネーションが点灯します。「イルミネーションを設定する」(※ 13-12ページ)

1 スケジュールが通知される

音とパイプレータを途中で停止するには、ボタンを何か1つ押します。

2 スケジュールを確認したら、 または を押す

■未確認のスケジュールの内容を表示する

スケジュールが通知されたあと  または  を押さずに約30秒経過した場合などは、待ち受け画面に「スケジュール ○○件」と未確認のスケジュール件数が表示され、画面上部に「」が表示されます。未確認のスケジュールは次の手順で内容を確認することができます。

1 待ち受け画面で を押す

未確認のスケジュールのうち、一番日付の古いスケジュールの一覧画面が表示され、スケジュールの内容を確認できます。

2 を押す

カレンダーが表示されます。

▶ 未確認スケジュールが複数あるときは

 で次の未確認スケジュールの一覧画面が表示されます。

3 を押す

待ち受け画面に戻ります。未確認スケジュールが残っている場合は、「スケジュール ○○件」と「」が表示されるので、手順1、2を繰り返して未確認スケジュールを確認してください。

お知らせ

- 通知設定の日時が同じで開始時刻が同じ場合、終了時刻の早いほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 通知設定の日時が同じで開始・終了時刻が同じ場合、後で登録したほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。

登録件数を確認する

1 カレンダー画面で (メニュー) を押す

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 (登録件数確認) を押す

スケジュール登録件数が表示されます。 でカレンダー画面に戻ります。

スケジュールの内容を変更する

登録されたスケジュールの内容を変更できます。また、登録済みのスケジュールをもとにして、新たなスケジュールを作成することもできます。

1 カレンダー画面で、変更するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されます。

3 で変更するスケジュールを選択し、 (メニュー) を押す

4 (編集) を押す

▶ (コピー&編集) を押すと

コピーされたスケジュールが表示されるので、必要に応じて各項目を編集して  (登録) で登録します。

5 で変更する項目を選択し、 を押す

6 内容を編集し、 を押す

7 (登録) を押す

スケジュールが変更され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順3、4の代わりに、 で変更するスケジュールを選択して  を押し、 (編集) を押しして変更することもできます。

スケジュールを削除する

登録したスケジュールを削除できます。

1 件だけ削除する

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(※ 13-19ページ)

2 を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されず。

3 で削除するスケジュールを選択し、 (メニュー) を押す

4 (一件削除) を押す

「削除しますか?」と表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

スケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

スケジュールを選択して削除する

一日のスケジュールから選択したものを削除することができます

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(※ 13-19ページ)

2 を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されず。

3 (メニュー) を押す

4 (選択削除) を押す

5 削除するスケジュールを選択する

▶ 1件ずつ選択するには

 で削除するスケジュールを選択し、 (チェック) を押します。スケジュールの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押します。

▶ 全件選択するには

 (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件選択) を押します。すべてのスケジュールの先頭に「」が付きます。チェックをすべて外すときは、 (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件解除) を押します。

6 (削除) を押す

「選択されたスケジュールを削除しますか?」と表示されます。

7 で「Yes」を選択し、 を押す

選択したスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

当日のスケジュールを全件削除する

当日1日分のスケジュールを削除できます。

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 を押す

選択した日のスケジュールの一覧が表示されます。

3 (メニュー) を押し、サブメニューで (当日全件削除) を押す

「当日のスケジュールを全件削除しますか?」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

当日のスケジュール全件が削除され、「削除されました」と表示されます。

お知らせ

- 週間スケジュール一覧の場合は、 (メニュー) を押し、サブメニューで  (今週全件削除) を押すと、1週間分のスケジュールが全件削除されます。「1週間分のスケジュールを表示する」(※13-24ページ)

前日までのスケジュールを全件削除する

前日までのスケジュールを全件削除できます。

1 カレンダー画面で、削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせる

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューで (前日まで削除) を押す

「前日までのスケジュールを全件削除しますか?」と表示されます。

3 で「Yes」を選択し、 を押す

前日までのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、前日までのスケジュールを削除することができます。全スケジュール一覧でスケジュールを選択し、 (メニュー) を押してサブメニューで  (前日まで削除) を押します。
- 前日までのスケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」(※13-24ページ)

スケジュールを全件削除する

登録したスケジュールを全件削除することができます。

1 カレンダー画面で (メニュー) を押す

「カレンダーを表示する」(※13-19ページ)

2 (全件削除) を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※11-11ページ)、
「暗証番号で認証を行う」(※11-12ページ)

認証されると、「全件削除しますか？」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

すべてのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、全件削除ができます。全スケジュール一覧で  (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件削除) を押します。
- スケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」(※13-24ページ)

目覚ましを利用する

指定した日時に目覚ましを鳴らすことができます。目覚ましを鳴るときには着信ランプのイルミネーションも点灯します。「イルミネーションを設定する」(※P 13-12ページ) 目覚ましを止めても約5分後に再び鳴らすスヌーズ機能もあります。目覚ましは3件登録できます。

1 待ち受け画面で **MENU** **8** **2** を押す

2 **WEB** (ON/OFF) で「**目覚まし**」に切り替えて、**OK** を押す

1 ~ **3** のいずれかで、登録する場所を設定できます。

3 **1** ~ **7** のいずれかを押し、設定を行う

どの項目からでも設定できます。
次の項目が設定できます。

- ▶ **1** (時刻) (※P 同ページ内です。)
- ▶ **2** (曜日設定) (※P 同ページ内です。)
- ▶ **3** (目覚まし音) (※P 13-31ページ)
- ▶ **4** (音量) (※P 13-31ページ)

■ **1** (時刻)

目覚ましを鳴らす時刻を設定できます。

1 **00:00** ~ **23:59** で時刻を入力し、**OK** を押す

00:00 ~ 23:59までで入力できます。
← で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

■ **2** (曜日設定)

目覚ましを鳴らす曜日を設定できます。

1 **2** (曜日指定) を押す

▶ 一度だけ目覚ましを鳴らすには

1 (一度きり) を押します。曜日には関係なく、一度だけ動作する設定になります。ただし、目覚ましを設定した時刻に、本電話機の電源を切っていたときは、目覚ましは鳴りません。再び電源を入れたときには、目覚ましの設定は「ON」になっています。

▶ **5** (パイプ) (※P 13-32ページ)

▶ **6** (鳴動時間) (※P 13-32ページ)

▶ **7** (スヌーズ) (※P 13-32ページ)

4 必要に応じて手順3を繰り返し、各項目を設定する

5 **MAF** (登録) を押す

目覚ましに登録され、「登録しました」と表示されます。

本機能を設定すると、待ち受け画面に「**目覚まし**」が表示されます。

▶ 目覚ましを鳴ったときに音を止めるには

いずれかのボタンを何か1つ押します。目覚ましの音や振動が停止します。また、ボタンを何も押さなくても、設定した鳴動時間が経過すると停止します。

■ 3 Dec (目覚まし音)

目覚ましの音を設定できます。

1 [1] ~ [3] のいずれかを押す

▶ [1] (固定サウンド) を押すと

固定サウンドの中から目覚まし音を選択します。[1] で目覚まし音を選択し、[OK] を押します。

▶ [2] (データフォルダ) を押すと

データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、目覚まし音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていない場合は、この項目は選択できません。「全データ表示」「サウンドデータ」「録音データ」「ユーザーデータ」または「その他データ」を選択します。[1] で目覚まし音を選択し、[OK] を押します。

▶ [3] (microSD) を押すと

microSDカードに保存されているサウンドデータの中から、目覚まし音を選択します。サウンドデータが保存されているmicroSDカードが装着されていない場合は、この項目は選択できません。

「サウンドデータ」「録音データ」「PCデータ」「ユーザーデータ」「その他データ」または「著作権ありデータ」を選択します。[1] で目覚まし音を選択し、[OK] を押します。

「本体へコピーし設定します よろしいですか?」と表示されるので、[Yes] を選択し、[OK] を押します。「コピー中 microSD を抜かないで下さい」と表示されてサウンドデータがデータフォルダにコピーされます。

▶ メロディを聞くには

[1] でメロディを選択して [Play] (再生) を押すと、メロディが再生されます。この場合、[Next] で次のメロディ、[Prev] で前のメロディを再生します。再生を終了するには、[Stop] (停止) または [Exit] を押します。

▶ 音量を調節するには

メロディ再生中に、[Volume] で音量の調節ができます。

■ 4 On (音量)

目覚ましの音量を設定できます。

1 [Volume] で音量のレベルを選択する

[Up] : 音量レベルが上がります。

[Down] : 音量レベルが下がります。

STEP ▲ : 音量レベルが [Vol.1] から [Vol.5] の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後 [Vol.5] の音量が継続されます。

STEP ▼ : 音量レベルが [Vol.5] から [Vol.1] の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後 [Vol.1] の音量が継続されます。

▶ 音量を確認するには

[Play] (再生) を押すと、設定したメロディが選択中の音量で再生されます。再生を停止するには、[Stop] (停止) を押します。

2 [OK] を押す

■ 5 (パイプ)

目覚ましのパイプレータのパターンを設定できます。パイプレータには6つのパターンがあります。

1 1 ~ 7 のいずれかを押す

でパターンを選択すると、それぞれのパイプレータのパターンを確認できます。

▶ 6 (パイプ後サウンド鳴動) を押すと

目覚ましの設定時刻にパイプレータが動作し、約10秒後に目覚まし音も鳴ります。

▶ パイプレータの設定を解除するには

パイプレータ設定時に、7 (OFF) を押します。

■ 6 (鳴動時間)

目覚ましの音やパイプレータの鳴動時間を設定できます。

1 0 ~ 9 で鳴動時間を入力し、 を押す

1秒～60秒までで入力できます。で入力したい箇所にカーソルを移動できます。鳴動時間が設定されます。

■ 7 (スヌーズ)

設定した時間に目覚まし音が鳴ったあと、約5分間隔で5回まで目覚ましを鳴らすことができます。

1 1 (ON) を押す

▶ スヌーズの設定を解除するには

スヌーズ設定時に、2 (OFF) を押します。

▶ 目覚まし音が鳴ったあとに音や振動を止めるには

スヌーズ中の目覚まし音や振動は、いずれかのボタンを何か1つ押すと一時的に止められます。または を押すと、「スヌーズを解除しますか?」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押すと、スヌーズが解除され、目覚まし音の繰り返しが停止します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「時刻」は「0:00」、「曜日設定」は「一度きり」、「目覚まし音」は「アラーム2」、「音量」は「Vol.3」、「パイプ」は「パターン3」、「鳴動時間」は「30秒」、「スヌーズ」は「OFF」に設定されています。
- マナーモードやオートサイレントモードを設定しているときは、それらのモードが有効になります。
- 目覚ましを2件以上設定していて、設定時刻が重なるときは、設定時刻の遅いほうが優先されます。先に鳴っていた目覚ましは、次の目覚まし音が鳴った時点で、スヌーズも含めて停止します。3件の目覚ましの設定時刻が同時のときは、「目覚まし1」が優先されます。
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後に目覚まし音が作動します。

電卓を利用する

10桁までの足し算、引き算、掛け算、割り算ができます。

1 待ち受け画面で を押す

2 各ボタンで計算式を入力する

各ボタンの機能は次のとおりです。

 ~  : 0 ~ 9 (数字)

	:  (足し算)
	:  (引き算)
	:  (掛け算)
	:  (割り算)
	:  (合計)
	:  (電卓を終了して元の画面に戻ります。数字入力中はボタンは「AC」(オールクリア)になります。)
	:  (小数点)
	:  (逆数切り替え)
	:  (+/-切り替え)
	:  (クリア)

3 (=) を押す

計算結果が表示されます。

お知らせ

-  () を押したあと、小数点以下を入力する前に、  を操作したときは、小数点入力がキャンセルされます。
- 計算結果が11桁以上になったときは、「ERROR」と表示され、計算できません。
- 計算中に、メールを受信したときや、スケジュールのアラーム時刻になったときなどは、それぞれの動作が優先され、計算は中止されます。

ICレコーダを利用する

音声の録音や再生ができます。また、録音した音声データをEメールに添付できます。

音声を録音する

音声データの保存先は、本電話機のデータフォルダかmicroSDカードのどちらかを選択できます。

1 待ち受け画面で または を押す

2 または を押す

▶ (録音 本体保存) を押すと

音声データを本電話機のデータフォルダに保存します。

▶ (録音 microSD保存) を押すと

音声データをmicroSDカードに保存します。microSDカードを装着していないと、この項目は選択できません。microSDカード挿入時に画面に「」が表示されます。

3 () を押す

録音開始音が鳴り、録音が始まります。画面には、録音時間と録音可能時間が「時間：分：秒」の形式で表示されます。

▶ 録音を中止するには

または を押すと、「録音を中止しますか?」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押します。

4 () を押す

録音停止音が鳴り、録音が停止します。保存中と表示されたあとに、「保存しました」と表示され、音声データが保存されます。

お知らせ

- オートサイレントモードまたはマナーモードのときは、録音開始音、録音停止音は鳴りません。
- 音声データの名前は、録音時の年月日時分となります。例えば、2007年1月23日4時56分の録音であれば、データ名は「0701230456」になります。
- 保存先をmicroSDカードに設定しているとき、音声を録音している途中でmicroSDカードを抜くと、途中までの音声データがmicroSDカードに保存されます。
- 「録音優先モード設定」が「ON」の場合は、手順2のあとに「録音機能に入ると圏外状態となります 開始しますか?」と表示されるので、 で「Yes」を選択し、 を押してください。
- 合計1000件まで保存することができます。

保存先の容量が足りない場合

留守録音を設定していると、録音可能容量が足りなくなった場合、待ち受け画面に「」が表示されます。この状態で音声データを録音しようとするとき「空き容量が足りません 整理しますか?」と表示されます。不要なデータを整理する場合、「Yes」を選択して を押します。データ保存先のフォルダが表示されるので、不要なデータを削除してください。「留守録音を設定する」(※7-74ページ)

録音優先モードを設定する

録音を電話着信、目覚まし、スケジュールの通知より優先するかどうかを設定することができます。

- 1 待ち受け画面で または を押す

- 2 (録音優先モード設定) を押す

- 3 (ON) または (OFF) を押す

- ▶ (ON) を押すと

録音が優先されます。録音前や録音中は圏外状態となり電話を受けることができません。目覚ましやスケジュール通知は、録音が終了したあとに鳴動します。

- ▶ (OFF) を押すと

録音前や録音中でも、電話の着信、目覚まし、スケジュール通知が可能です。録音中だった場合は、録音は中断され、その時点までの録音データが自動的に保存されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

音声を再生する

- 1 待ち受け画面で または を押す

- 2 (プレイリスト) を押す

プレイリスト画面が表示されます。

: 未再生のデータです。

: 再生済みのデータです。

- ▶ microSDカード内のデータを表示させるには

(microSD) を押すと、microSDカード内の保存データが表示されます。

- ▶ 音声データを編集、削除するには

(メニュー) を押すと、サブメニューが表示されます。タイトル名編集、Eメール添付、詳細情報、ソート、一件削除、選択削除、および全件削除の設定ができます。「音声データを編集する」(※ 13-36ページ)

- 3 で音声データを選択し、
 (再生) を押す

選択した音声データの録音日時、データ名、録音時間が表示されます。

- 4 () を押す

再生が開始されます。

- ▶ 停止をするには

() を押すと、停止します。もう一度

() を押すと、手順2のプレイリスト画面に戻ります。

- ▶ 一時停止をするには

() を押すと、一時停止します。再度、 () を押すと、続きから再生します。

- ▶ 早送りをするには

() で10倍のスピードで早送りをします。再度、 () で30倍のスピードになります。再度、 () で360倍のスピードになります。もう一度、 () で10倍のスピードに戻ります。早送り中に () を押すと、続きから再生します。

▶ 巻き戻しをするには

(10倍) で10倍のスピードで巻き戻しをします。再度、 (30倍) で30倍のスピードになります。再度、 (10倍) で360倍のスピードになります。もう一度、 (10倍) で10倍のスピードに戻ります。巻き戻し中に (■) を押し、続きから再生します。

▶ レシーバから音を聞くには

再生中に (■) を押します。スピーカに切り替えるには (■) を押します。

▶ 音量を調節するには

再生中に、 (■) または (■) で音量を調節します。

お知らせ

- 手順3の画面(再生前画面)や手順4の画面(再生中画面)では、 で前の音声データ、 で次の音声データに切り替えることができます。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音内容を再生しようとする時、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押し、再生前の確認画面が表示されます。
- 早送り中や巻き戻し中は、音声は聞こえませんが、再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

音声データを編集する

タイトル名を編集する

音声データの名前は、録音時の日時をもとに自動的に設定されますが、変更することもできます。

- 1 待ち受け画面で (■) (■) (■) または (■) を押す
- 2 (■) (プレイリスト) を押す
- 3 (■) で編集する音声データを選択し、 (■) (メニュー) を押す
- 4 (■) (タイトル名編集) を押す
- 5 タイトルを編集し、 (■) を押す

Eメールに音声データを添付する

- 1 待ち受け画面で (■) (■) (■) または (■) を押す
- 2 (■) (プレイリスト) を押す
- 3 (■) で添付する音声データを選択し、 (■) (メニュー) を押す
- 4 (■) (Eメール添付) を押す
手順3で選択した音声データがEメールに添付されます。
- 5 Eメールを作成し、 (■) を押す
「Eメールを新規に作成して送信する」(※8-8ページ)、「ファイルを添付する」(※8-10ページ)

詳細情報を表示する

音声データのファイル名、データサイズ、作成日時など詳細情報を表示することができます。

- 1 待ち受け画面で **MENU** **8** **3** または **ESC** を押す
- 2 **3** (プレイリスト) を押す
- 3 **1** で詳細情報を表示させる音声データを選択し、**WEB** (メニュー) を押す
- 4 **3** (詳細情報) を押す

詳細情報が表示されます。「データの詳細情報を表示する」(P.13-79ページ)

音声データを並べ替える

- 1 待ち受け画面で **MENU** **8** **3** または **ESC** を押す
- 2 **3** (プレイリスト) を押す
- 3 **WEB** (メニュー) を押す
- 4 **4** (ソート) を押す
- 5 **1** ~ **9** のいずれかを押す

選択した順で音声データが並べ替えられます。

音声データを削除する

一件だけ削除する

- 1 待ち受け画面で **MENU** **8** **3** または **ESC** を押す
- 2 **3** (プレイリスト) を押す
- 3 **1** で削除する音声データを選択し、**WEB** (メニュー) を押す
- 4 **5** (一件削除) を押す
- 5 **1** で「Yes」を選択し、**ESC** を押す

「削除中」と表示されたあと、選択した音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

選択して削除する

- 1 待ち受け画面で **MENU** **8** **3** または **ESC** を押す
- 2 **3** (プレイリスト) を押す
- 3 **WEB** (メニュー) を押す
- 4 **6** (選択削除) を押す

5 削除する音声データを選択する

▶ 1件ずつ選択するには

 で削除する音声データを選択し、 (チェック) を押します。音声データの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押します。

▶ 全件選択するには

 (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件選択) を押します。すべての音声データの先頭に「」が付きます。チェックをすべて外すときは、 (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件解除) を押します。

全件削除する

1 待ち受け画面で    または  を押す

2  (プレイリスト) を押す

3  (メニュー) を押す

4  (全件削除) を押す

5 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※P 11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※P 11-12ページ) 認証されると、「全件削除しますか?」と表示されます。

6  (削除) を押す

「選択されたファイルを削除しますか?」と表示されます。

7  で「Yes」を選択し、 を押す

「削除中」と表示されたあと、選択した音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

6  で「Yes」を選択し、 を押す

プレイリストのすべての音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「削除中」と表示されているときに  を押すと、その時点までのデータを削除し、処理を中断します。
- 削除対象の音声データの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して  を押すと、設定データも含め選択したすべての音声データが削除されます。

メモ帳を利用する

メモ帳には、1件あたり全角5000文字までのメモを登録することができます。

メモを入力する

1 待ち受け画面で を押す

メモ一覧が表示されます。

2 (新規) を押す

3 文字を入力し、 を押す

全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。「文字を入力する」(P.7-19ページ)

4 ファイル名を編集し、 を押す

ファイル名には、メモの内容の先頭部分が自動的に表示されます。先頭部分が空行の場合は年月日時分がファイル名として表示されます。必要に応じてファイル名を編集してください。全角30文字（半角60文字）まで入力できます。メモが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 保存時に「空き容量が足りません」と表示されたときは、保存方法の選択画面が表示され、保存先を変更したり不要なデータを削除したりできます。

メモの保存先を設定する

メモの保存先は、データフォルダかmicroSDカードのどちらかを選択できます。

1 メモ一覧画面で (メニュー) を押す

2 (microSD) を押す

microSDカードが選択されている場合は  (本体) を押します。

選択した保存先のメモ一覧が表示されます。

お知らせ

- データフォルダとmicroSDカードのどちらを選択した場合でも、保存フォルダは「その他データ」フォルダになります。

メモを表示する

登録したメモの内容を表示します。

- 1 待ち受け画面で を押す
- 2 でメモを選択し、 を押す
メモの内容が表示されます。

お知らせ

- データフォルダで、「その他データ」フォルダに保存されているメモを表示することもできません（編集することはできません）。「デキストデータを開く」（※P.13-67ページ）

メモを編集する

メモの内容やファイル名を編集します。

メモの内容を編集する

- 1 待ち受け画面で を押す
- 2 で編集するメモを選択し、（メニュー）を押す

- 3 （編集）を押す
メモの内容を編集できる状態になります。
- 4 メモの内容を編集し、 を押す

メモのファイル名を編集する

- 1 待ち受け画面で を押す
- 2 で編集するメモを選択し、（メニュー）を押す

- 3 （ファイル名編集）を押す
メモのファイル名を編集できる状態になります。
- 4 ファイル名を編集し、 を押す
ファイル名が変更されます

Eメールにメモを添付する

- 1 待ち受け画面で を押す
- 2 でEメールに添付するメモを選択し、（メニュー）を押す
- 3 （Eメール添付）を押す
メモがEメールに添付されます。

- 4 Eメールを作成し、 を押す
「Eメールを新規に作成して送信する」（※P.8-8ページ）、「ファイルを添付する」（※P.8-10ページ）

お知らせ

- 通話中はEメール添付は行えません。

メモを並べ替える

1 待ち受け画面で を押す

2 (メニュー) を押し、サブメニューで (ソート) を押す

3 ~ のいずれかを押す

選択した順でメモが並べ替えられます。

メモを削除する

登録されているメモの削除ができます。

一件だけ削除する

1 待ち受け画面で を押す

2 で削除するメモを選択し、 (メニュー) を押す

3 (一件削除) を押す

「削除しますか?」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

手順2で選択したメモだけが削除され、「削除しました」と表示されます。

選択して削除する

選択したメモだけを削除することができます。

1 待ち受け画面で を押す

2 (メニュー) を押し、サブメニューで (選択削除) を押す

3 削除するメモを選択する

▶ 1件ずつ選択するには

で削除するメモを選択し、 (チェック) を押します。メモの先頭にが付きます。チェックを外すときは、再度 (チェック) を押します。

▶ 全件選択するには

(メニュー) を押し、サブメニューで (全件選択) を押します。すべてのメモの先頭にが付きます。チェックをすべて外すときは、 (メニュー) を押し、サブメニューで (全件解除) を押します。

4 (削除) を押す

「選択されたファイルを削除しますか?」と表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

選択したメモが削除され、「削除しました」と表示されます。

全件削除する

1 待ち受け画面で    を押す

2  (メニュー) を押す

3  (全件削除) を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※P 11-11 ページ)、
「暗証番号で認証を行う」(※P 11-12 ページ)
認証されると、「全件削除しますか?」と表示
されます。

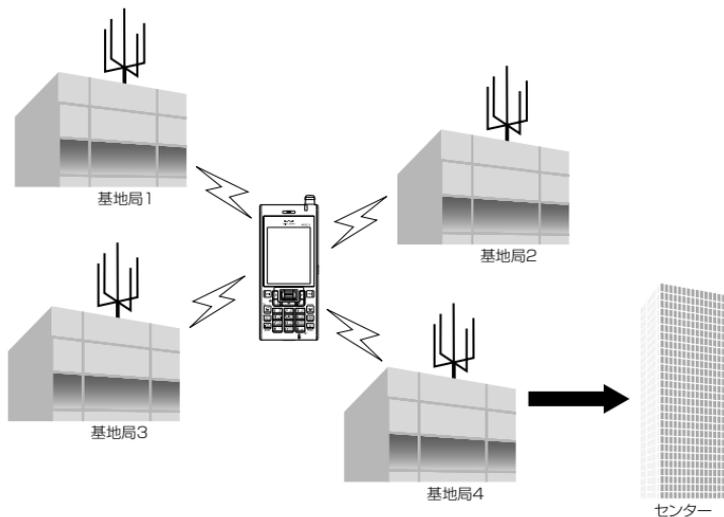
5  で「Yes」を選択し、 を押す

メモ帳に登録されているすべての項目が削除され、「削除しました」と表示されます。

位置情報を利用する

位置情報通知機能の概要

位置情報通知機能とは、本電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、「発信型」と「着信型」があります。



基地局の電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。

ウィルコムでは位置情報サービスを利用した「ウィルコム位置検索サービス」を提供しています。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(☎A-10ページ)

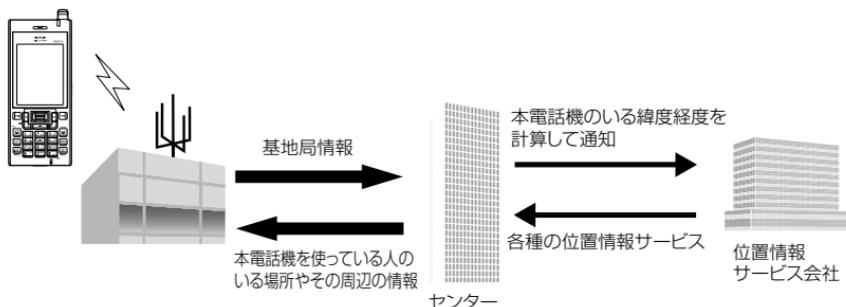
便利な
使いかた

位置情報
を利用する

■発信型機能

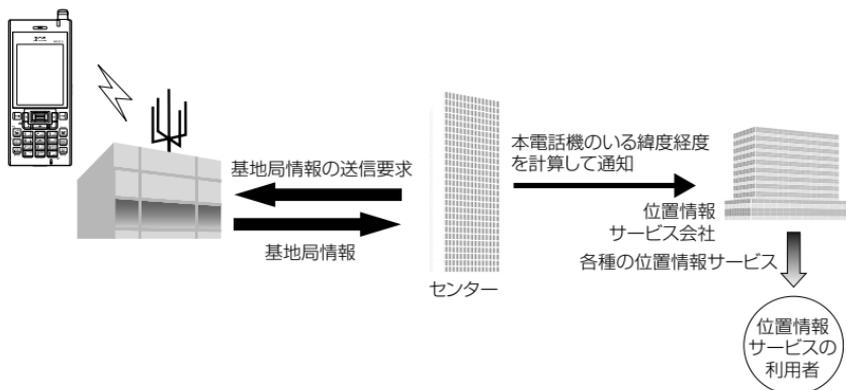
本電話機からセンターに基地局情報を通知し（発信）、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。

センターは受け取った基地局情報をもとに、本電話機のある場所を算出し、位置情報サービス会社に通知します。この情報をもとに、位置情報サービス会社は各種情報サービスを提供します。



■着信型機能

センターからの問い合わせ（着信）に応じて、本電話機の基地局情報をセンターに通知し、第三者が本電話機の位置情報を知ることができる機能です。



便利な使いかた

位置情報を利用する

発信型機能を利用する

発信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定する必要があります。

位置情報通知LIを設定する

1 待ち受け画面で     を押す

2  (ON) を押す

位置情報通知LIが設定され、「設定しました」と表示されます。

設定されると、「自動位置情報送出設定」を設定する画面が表示されます。

3  (ON) または  (OFF) を押す

▶  (ON) を押すと

着信型機能をご利用になれます。「着信型機能を利用する」(※13-46ページ)の手順3の画面が表示されますので手順4以降へ進んでください。

▶  (OFF) を押すと

発信型機能のみをご利用になれます。位置情報を通知する準備は終了です。

お知らせ

- お買い上げ時には、「位置情報通知LI」は「OFF」、「自動位置情報送出設定」は「OFF」に設定されています。

位置情報を通知する

サブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式の2種類の通知方法があります。

■サブアドレス方式で通知する

1 待ち受け画面で  を約1秒以上押す

入力画面に「♥」が表示されます。

2 「ダイヤルボタン」でセンターの電話番号を入力する

 で発信履歴、着信履歴、および番号メモを使用できます。また、 (メニュー) を押すと、料金分計、電話帳引用、およびポーズを使用できます。

「記録された電話番号にかける」(※2-5ページ)

「料金分計サービスを利用する(有料)」(※13-95ページ)

「電話帳／ブックマーク／プロフィール／メモ帳から引用する」(※7-42ページ)

「ポーズを利用する」(※7-8ページ)

3  または  (発信) を押す

センターに位置情報が通知され、位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

■ユーザ・ユーザ方式で通知する

位置情報のみの登録と、ステータスコード付きの位置情報登録の2種類があります。

● 位置情報のみを登録するには

1 待ち受け画面で を約1秒以上押す

 (メニュー) を押すと、料金分計が使用できます。「料金分計サービスを利用する (有料)」(※ 13-95ページ)

2 または (発信) を押す

● ステータスコード付きの位置情報を登録するには

ステータスコードについては、あらかじめサービス会社「位置情報通知機能の概要」(※ 13-43ページ) にお問い合わせください。

センターへ登録するステータスコードが「10」のときの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で を押す

▶ (メニュー) を押すと

ライトメール作成、184、186、料金分計、電話帳引用、およびボーズを使用できます。「ライトメールを作成して送信する」(※ 8-41ページ)

「発信者番号通知を設定する (番号通知設定)」(※ 11-2ページ)

「料金分計サービスを利用する (有料)」(※ 13-95ページ)

「電話帳/ブックマーク/プロフィール/メモ帳から引用する」(※ 7-42ページ)

「ボーズを利用する」(※ 7-8ページ)

▶ (登録) を押すと

番号を電話帳へ登録できます。「電話帳に登録する」(※ 7-46ページ)

2 または (発信) を押す

着信型機能を利用する

着信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知Iを「ON」に設定し、自動位置情報送出設定を「ON」に設定する必要があります。

自動位置情報送出設定をする

通知許可番号、着信音設定、および自動送出機能の設定ができます。センターからの位置情報送出の問い合わせ (着信) に対して、自動的に位置情報を送出する設定です。

1 待ち受け画面で を押す

2 (ON) を押す

位置情報通知Iが設定され、「設定しました」と表示されます。

3 (ON) を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※P.11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※P.11-12ページ)認証されると、自動位置情報送出国設定画面が表示されます。

5 (通知許可番号) を押す

センターから位置情報送出国の問い合わせ(着信)があったときに、センターへ自動的に位置情報を送出する際の番号設定です。自動的に送出ししないようにするには、手順10と11を参照してください。通知許可番号が設定されていないときには、「自動送出国機能」は選択できません。

6 ~ で通知許可番号を入力し、 を押す

20桁まで入力できます。

▶ 通知許可番号を入力しなおすには

手順7で通知許可パスワードを何も入力していない状態であれば、 を押すと手順4の自動位置情報送出国設定画面に戻ります。また、手順7で通知許可パスワードを入力しても  を押す前であれば、 (戻る) を押すと、手順4の自動位置情報送出国設定画面に戻ります。手順5の操作から始めてください。

7 ~ で通知許可パスワードを入力し、 を押す

8桁まで入力できます。全桁0で設定することはできません。自動位置情報送出国設定が「ON」になり、通知許可番号が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「」が表示されます。

引き続き「着信音設定」や「自動送出国機能」の設定をするときは、手順8へ進んでください。終了するときは、 を押します。

▶ 通知許可パスワードを修正するには

許可パスワードを入力しても、 を押す前に  を押すと、入力した数字がすべて消えます。

8 (着信音設定) を押す

9 (ON) を押す

「設定しました」と表示され、着信音が設定されます。

▶ 着信音を鳴らさなくするには

 (OFF) を押します。着信音の設定が解除され、「解除しました」と表示されます。

10 (自動送出国機能) を押す

11 (ON) を押す

手順6で入力した通知許可番号で、センターより位置情報送出国の問い合わせ(着信)があったときに、自動的に位置情報をセンターへ送出します。本機能を設定すると、待ち受け画面に「」が表示されます。

▶ 自動的に送出しないようにするには

 (OFF) を押します。「解除しました」と表示され、待ち受け画面の「」が消えます。自動送出国機能は一時的に解除されますが、通知許可番号や通知許可パスワードの設定は削除されません。

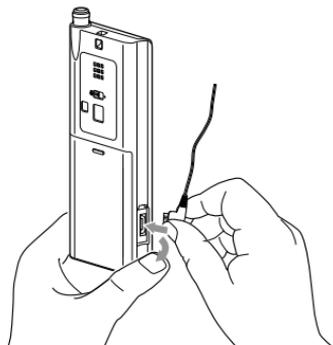
お知らせ

- お買い上げ時には、「着信音設定」は「ON」、「自動送出国機能」は「ON」に設定されています。

イヤホンマイクをつなぐ

イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（平型プラグ）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。イヤホンはモノラル対応ですので、ステレオイヤホンを接続してもモノラルで再生されます。



イヤホン装着時に電話を受ける

イヤホンマイクが完全に接続されているのを確認してください。

1 着信音が鳴る

▶ 着信時にイヤホンマイクを接続したときには

イヤホン自動応答が「ON」でも、イヤホンマイクで電話を受けることができません。本電話機のマイクとレシーバで通話してください。「イヤホン自動応答を設定する」(※ 13-14 ページ)

2 アンテナを伸ばす

3 を押して通話する

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を受けることができます。

▶ 本電話機で通話中にイヤホンマイクを装着したときには

イヤホンマイクで通話を継続できます。

▶ 通話中にイヤホンマイクを抜いたときには

本電話機のマイクとレシーバで通話してください。

イヤホンマイクを接続して通話中に、「ハンズフリー通話」または「スピーカ受話」を設定したときは、イヤホンマイクを抜いても設定した通話モードで通話を継続できます。「手に持たずに通話する（ハンズフリー通話/スピーカ受話）」(※ 7-16 ページ)

4 通話が終わったら を押す

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を切ることができます。

お知らせ

- 着信時にイヤホンマイクを抜いたときは、イヤホン自動応答が「ON」であれば自動応答します。
- 着信時にイヤホンマイクが接続されていないときには、イヤホン自動応答が「ON」でもイヤホンマイクで電話を受けることができません。「イヤホン自動応答を設定する」(※P 13-14ページ)
- 安全運転モードに設定されているときは、イヤホンマイクを接続していても通話できません。「安全運転モードを設定する」(※P 7-69ページ)
- スイッチ付イヤホンマイク使用時に  で通話を保留にしているときには、イヤホンマイクのスイッチを押すと通話が切れます。

指紋センサーの動作を設定する

ここでは指紋センサーによるカーソル移動、決定、長押し、ブラウザ使用時のカーソル移動の設定について説明します。なお、指紋登録については「指紋を登録する」(※11-8ページ)、管理者指紋登録については「管理者指紋を登録する」(※11-24ページ)を参照してください。

ポインティング動作を設定する

ポインティングに使用するかどうか設定する

指紋センサーをポインティング(カーソル移動)に使用するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で を押す

ポインティング動作設定画面が表示されます。

2 (ポインティング設定) を押す

3 (ON) または (OFF) を押す

ポインティング動作が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ (ON) を押すと

指紋センサーでポインティングが行えます。移動方向については「ポインティング方向/決定/長押しの動作を設定する」(※同じページ内です。)を参照してください。

▶ (OFF) を押すと

指紋センサーでポインティングは行えません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

ポインティング方向/決定/長押しの動作を設定する

指紋センサーによるポインティング動作(上下左右の移動、決定、長押し)を設定します。ポインティング動作を行うには、「ポインティング設定」を「ON」にする必要があります。「ポインティングに使用するかどうか設定する」(※同じページ内です。)

1 待ち受け画面で を押す

ポインティング動作設定画面が表示されます。

2 (ポインティング設定) を押す

3 (編集) を押す

4 ~ のいずれかを押す

▶ (上下) を押すと

指紋センサーで上下のポインティングを行うかどうか設定します。「ON」に設定すると、上下のポインティングが行えます。

▶ (左右) を押すと

指紋センサーで左右のポインティングを行うかどうか設定します。「ON」に設定すると、左右のポインティングが行えます。

▶ (決定) を押すと

指紋センサーで決定操作を行うかどうか設定します。「ON」に設定すると、 の代わりに指紋センサーを使用することができます。「指紋センサーの使いかた」(※1-15ページ)

▶ **4** (長押し) を押すと

指紋センサーでスクロールを行うかどうかを設定します。「ON」に設定すると、上下左右のポインティングを行ったとき指を当てたままにしておくと、その方向にスクロールが行われます。

5 (登録) を押す

ポインティング動作が設定され、「登録しました」と表示されます。

ポインティング速度を設定する

指紋センサーによるポインティング動作の速度（カーソル移動の速度）を10段階で設定することができます。

1 待ち受け画面で (MENU) (設定) (ポインティング速度設定) を押す

ポインティング動作設定画面が表示されます。

2 (ポインティング速度設定) を押す**3** (目盛り) で目盛りの矢印を移動する

お知らせ

- お買い上げ時には、「上下」は「ON」、「左右」は「ON」、「決定」は「OFF」、「長押し」は「OFF」に設定されています。
- 手順5で (登録) を押すには、手順4の (1) ~ (3) のうち最低でも1つは「ON」に設定しておく必要があります。

4 (戻る) を押す

ポインティング速度が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、下から6番目の目盛りに設定されています。

マウスカーソル動作を設定する**マウスカーソル操作に使用するかどうかを設定する**

Webを表示しているときに、指紋センサーでマウスカーソルを操作するかどうかを設定します。

1 待ち受け画面で (MENU) (設定) (マウスカーソル設定) を押す

マウスカーソル動作設定画面が表示されます。

2 (マウスカーソル設定) を押す**3** (ON) または (OFF) を押す

マウスカーソル動作が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ (ON) を押すと

指紋センサーでマウスカーソル操作が行えます。

▶ (OFF) を押すと

指紋センサーでマウスカーソル操作は行えません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 画像保存の画像選択時には、マウスカーソル操作を使用することができません。「画像を選択して保存する（画像保存）」（※9-23ページ）
- 表示モードが「ケータイモード」に設定されている場合は、マウスカーソル設定を「ON」に設定していてもマウスカーソル操作を使用することができません。「画面の表示幅を設定する（表示モード）」（※9-33ページ）

マウスカーソル速度を設定する

指紋センサーによるマウスカーソル動作の速度を10段階で設定することができます。

1 待ち受け画面で を押す

マウスカーソル動作設定画面が表示されます。

2 （マウスカーソル速度設定）を押す

3 で目盛りの矢印を移動する

4 を押す

マウスカーソル速度が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、下から6番目の目盛り
に設定されています。

データフォルダを活用する

データフォルダについて

インターネットやメールで入手した画像データ、録音した音声データ、パソコンから移動したデータなど、本電話機上のデータは「データフォルダ」と呼ばれる保管場所に置かれます。画像データを壁紙に設定したり録音データを再生したりといった、データに関する各種の操作はデータフォルダ上で行います。

フォルダ構成

データフォルダは、電話機の本体とmicroSDカードにあり、切り替えて使用することができます。データフォルダのフォルダ構成は次の表のとおりです。データの種類によりどのフォルダに保存されるかが決まっています。なお、一部のフォルダは、さらにサブフォルダに分かれています。

フォルダ名/ サブフォルダ名		内容	本体 (本電話機)	microSD カード
全データ表示		本体の全データを表示します。	○	×
デジカメデータ	100JRC01	本電話機の内蔵カメラで撮影した画像データ (VGA サイズ/ SXGA サイズのみ)	×	○
カメラデータ		本電話機の内蔵カメラで撮影した画像データ (microSD カードの場合は壁紙サイズ/ケータイサイズのみ)	○	○
画像データ		画像データ	○	○
サウンドデータ		録音データ以外の音データ	○	○
録音データ	全データ表示	「録音データ」フォルダ内の全データを表示します。	○	×
	IC レコーダ	IC レコーダのデータ	○	○
	留守録音	留守録音のデータ		
	通話録音	通話録音のデータ		
その他データ		メモ帳のデータなど専用フォルダのないデータ	○	○
2次元コードログ		2次元コードのログデータ [2次元コードスキャナーとして使用する] (※ 12-18ページ)	○	○
バックアップデータ	メールBOXバックアップ	メールBOXのバックアップデータ	×	○
	電話帳バックアップ	電話帳のバックアップデータ		
	スケジュールバックアップ	スケジュールのバックアップデータ		
	ブックマークバックアップ	ブックマークのバックアップデータ		
シークレットデータ		データを暗号化し保存するフォルダ	○	○
著作権ありデータ		コピーガード付きデータ用のフォルダ	×	○
PC データ		パソコンとのやり取り用のフォルダ	×	○

便利な使いかた

データフォルダを活用する

フォルダ名／サブフォルダ名		内容	本体 (本電話機)	microSD カード
ユーザ データ	全データ 表示	「ユーザデータ」フォルダ内の全データを 表示します。	○	×
	フォルダ 1～フォルダ 10	自由に使用できるフォルダ。お買い上げ時 は 10 個のサブフォルダが用意されていま す。「フォルダを管理する」(※P 13-86 ペー ジ)	○	○

○：有り

×：無し

お知らせ

- 本体（本電話機）にはデータとフォルダを合計 1000 件まで保存することができます。保存できる容量は、データフォルダ、Java アプリケーションと Web 関連との合計で 2048K バイトまでです。
- microSD カードに保存できるデータの件数は、1 フォルダあたり 1000 件です。サブフォルダの場合も 1000 件までデータを保存することができます。
- 「デジカメデータ」フォルダは、サブフォルダ内のデータ数が上限に達することに「101JRC01」「102JRC01」…と新しいサブフォルダが生成されます。
- microSD カードの次のデータフォルダ内のデータは、そのデータを保存したときの電話機以外や電話番号の入っていない電話機では使用できません。
 - ・「シークレットデータ」フォルダ
 - ・「著作権ありデータ」フォルダ
- バックアップデータを編集しないでください。バックアップデータを編集した場合、正しく復元できないばかりでなく、本電話機内のデータが破損する恐れがあります。

■コピーガードについて

著作権のあるデータの不正コピーを防ぐための仕組みがコピーガードです。コピーガードされたデータは、データフォルダに保存されます。コピーガードされたデータは、移動や削除はできませんが、コピーすることはできません。

microSD カードに移動した場合は、「著作権ありデータ」フォルダに移動されます。

データのアイコン

データフォルダのデータのアイコンは、データの種類や状態を表します。画面上は表示されませんが、データ名の後ろには拡張子と呼ばれる 3 文字または 4 文字の文字列が付いており、これに基づいてデータの種類の判別され、表示するアイコンが決まります。

アイ コン	データの種類 (拡張子)
	ビットマップ画像データ (.bmp)
	JPEG 画像データ (.jpeg, .jpg)
	PNG 画像データ (.png)
	GIF 画像データ (.gif)
	フィールドサウンドデータ (.dxx)
	MIDI データ (.midi, .mid)

アイ コン	データの種類 (拡張子)
	未再生の I C レコーダデータ (.3g2)
	再生済みの I C レコーダデータ (.3g2)
	未再生の留守録音データ (.3g2)
	再生済みの留守録音データ (.3g2)
	未再生の通話録音データ (.3g2)
	再生済みの通話録音データ (.3g2)

アイコン	データの種類 (拡張子)
	その他の録音データ (.3g2)
	スケジュールバックアップデータ (.shbu)
	電話帳のバックアップデータ (.pbpu)
	メールBOX バックアップデータ (.mbbu)
	ブックマークバックアップデータ (.bmbu)
	テキストデータ (.txt)
	Microsoft Word データ (.doc)
	Microsoft Excel データ (.xls)
	Microsoft PowerPoint データ (.ppt)

アイコン	データの種類 (拡張子)
	PDF データ (.pdf)
	LZH 形式圧縮データ (.lzh)
	ZIP 形式圧縮データ (.zip)
	Java アプリケーション (.jar)
	Java アプリケーション (.jad)
	Java アプリケーション (.url)
	2次元コードログデータ (.code)
	HTML データ (.htm, .html)
	本電話機で使用できないデータ

データフォルダを表示する

1 待ち受け画面で を押す

本体のデータフォルダが表示されます。各フォルダの右側には、そのフォルダ内のデータ件数が表示されます。また、画面の下端には、現在表示しているデータフォルダ (本体 / microSD カード) の空き容量が表示されます。

▶ microSD カードのデータフォルダを表示するには

- (microSD) を押すと、microSD カードのデータフォルダ表示に切り替わります。
- (本体) を押すと、本体のデータフォルダ表示に戻ります。

2 でフォルダを選択し、 を押す

フォルダ内のデータ一覧が表示されます。データは で選択することができ、選択しているデータのサイズが画面の上端に表示されます。

▶ サブフォルダの中を表示するには

フォルダ内にサブフォルダがある場合は、手順2によりサブフォルダの一覧が表示されます。 でサブフォルダを選択して を押すと、サブフォルダの内容が表示されます。

▶ 「シークレットデータ」フォルダを表示するには

microSD カードにある「シークレットデータ」フォルダを表示するには、指紋認証または暗証番号認証が必要です。「指紋や暗証番号で認証を行う」(※ 11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※ 11-12 ページ)

フォルダ内の表示形式について

データ一覧の表示形式には、データ名が表示される「一覧表示」と、データがタイル状に配置される「サムネイル表示」とがあります。サムネイル表示では、画像データは画像の内容が表示されるので、データを開かずには内容を確認することができます。

表示形式	一覧表示	サムネイル表示
カーソルの移動		
お買い上げ時のフォルダの表示形式	右記以外のフォルダ	「デジカメデータ」フォルダ 「カメラデータ」フォルダ 「画像データ」フォルダ

表示を切り替えるには、サブメニューから「表示切替」を選択します。「表示切替」のメニュー番号は選択中のデータの種類によって異なります。画像データを選択している場合の手順は次のようになります。

- 1 データ一覧の画面で (メニュー) を押す
- 2 (次頁) を押す
- 3 サブメニューの (表示切替) を押す

画像データを活用する

画像データ (.bmp, .gif, .jpg, .jpeg, .png) の内容を確認したり画像データを壁紙に登録したりできます。画像データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

- : ビットマップ画像データ (.bmp)
- : JPEG 画像データ (.jpeg, .jpg)
- : PNG 画像データ (.png)
- : GIF 画像データ (.gif)

画像データは、次のフォルダに保存されています。

- ・「デジカメデータ」フォルダ
- ・「カメラデータ」フォルダ
- ・「画像データ」フォルダ

画像データを表示する

- 1 待ち受け画面で を押す
- 2 で画像データのあるフォルダを選択し、 を押す
- 3 で表示する画像データを選択する
- 4 (表示) を押す

画像データが表示されます。幅が240dotを超えるか、高さが320dotを超える場合は、画面内に収まるよう画像データは縮小して表示されます。

▶ 前後の画像データを表示するには

を押すと前の画像データ、 を押すと次の画像データが表示されます。

▶ 表示を拡大／縮小するには

(ズーム) を押すとズームモードになり、表示倍率が を押すごとに拡大、 を押すごとに縮小されます。表示倍率の範囲は50%～200%です。 (戻る) を押すと、通常表示に戻ります。

▶ 等倍で表示するには

(等倍) を押すと、倍率100%で画面中央に画像データが表示されます。ただし、高さまたは幅が640dotを超える画像データは、等倍では表示できません。

▶ 表示位置を移動するには

で画像データが上下左右に2dot移動します。そのまま約1秒以上押し続けると10dot移動します。さらに を押したままにしておくと、連続して画像データが移動します。

お知らせ

- 表示できる画像データのサイズは、縦1280dot、横960dotまでです。それを超えるサイズの画像データを表示しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

画像データを壁紙に設定する

データフォルダにあるお好みの画像データを壁紙（画面の背景）として設定することができます。

1 待ち受け画面で   を押す2  で画像データのあるフォルダを選択し、 を押す3  で壁紙にする画像データを選択し、（メニュー）を押す4 （壁紙設定）を押す

microSDカード上の画像データを選択した場合は、本体へコピーするかどうか確認するメッセージが表示されるので、「Yes」を選択してください。

▶ 壁紙を解除するには

「壁紙を解除する」（[P.13-58](#)ページ）を参照してください。

お知らせ

- 画像データを表示した状態で （メニュー）を押し、（壁紙設定）を押して壁紙に設定することもできます。
- 次の手順で壁紙を設定することもできます。
 - ①     を押す
 - ② （データフォルダ）または （microSD）を押す
 - ③  で「画像データ」を選択し、 を押す
 - ④   で画像データを選択し、 を押す
- microSDカードの画像データを壁紙に設定した場合は、本体の「画像データ」フォルダにデータがコピーされ、そのデータが壁紙に設定されます。コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- microSDカードの「デジカメデータ」または「カメラデータ」フォルダの画像データを壁紙に設定した場合は、本体の「カメラデータ」にデータがコピーされ、そのデータが壁紙に設定されます。コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。

固定画像を壁紙に設定する

本電話機にあらかじめ用意されている固定画像を壁紙として設定します。

1     を押す2 （固定画像）を押す

固定画像の一覧が表示されます。固定画像が壁紙に設定されている場合は、その画像データにカーソルが表示されます。

▶ 固定画像を名前の一覧に切り替えるには

（一覧）を押すと、名前の一覧に切り替わります。（サムネイル）を押すと、サムネイル表示に戻ります。

▶ 画像を画面いっぱいに表示して確認するには

（表示）を押すと、固定画像が画面いっぱいに表示されます。その状態から  で前後の画像に切り替えることもできます。

- 3  で固定画像を選択し、
 を押す

壁紙が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「Keyhole-Black」に設定されています。

壁紙を解除する

設定されている壁紙を解除し、壁紙のない状態にします。

- 1     を押す

- 2  (壁紙なし) を押す

画像データを編集する

■ 画像編集の概要

画像データに対して、フレーム（枠）を付けたりスタンプを貼り付けたりといったさまざまな編集を行うことができます。編集したデータは、元の画像とは別の画像データとして保存されます。

画像編集には次の機能があります。

▶ フレーム

画像データにフレーム（枠）を付けます。「画像データにフレームを付ける」(P.13-59ページ)

▶ スタンプ貼付け

画像データに文字や記号のスタンプを貼り付けます。「画像データにスタンプを貼り付ける」(P.13-60ページ)

▶ 文字入力

画像データに文字を入力します。「画像データに文字を入力する」(P.13-61ページ)

▶ フォトアレンジ

画像データをセピア調やモノクロに変換したり、縮小してタイル状に並べたりします。「画像データをアレンジする」(P.13-61ページ)

▶ 切り取り

画像データを電話帳用のサイズなどに切り取ります。「画像データを切り取る」(P.13-62ページ)

▶ 回転

画像データを回転します。「画像データを回転する」(P.13-63ページ)

▶ 拡大／縮小

画像データを拡大または縮小します。「画像データを拡大／縮小する」(P.13-63ページ)

画像データのサイズによっては使用できない編集機能もあります。編集機能と画像データの対応は次の表のとおりです。

機能 \ サイズ (幅 × 高さ)	120 × 120 以下	ケータイサイズ (120 × 160)	ケータイサイズ (160 × 120)	壁紙サイズ (240 × 320)	壁紙サイズ (320 × 240)	320 × 320 以下	VGA (480 × 640)	VGA (640 × 480)	640 × 640 以下	SXGA (960 × 1280)	SXGA (1280 × 960)
フレーム	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
スタンプ貼付け	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
文字入力	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
フォトアレンジ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
切り取り (QQVGA)	×	×	○	○	○	○*1	○	○	○	×	×
切り取り (QVGA)	×	×	×	×	○	○*2	○	○	○	×	×
切り取り (電話帳画像)	○*2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
回転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拡大 / 縮小	○*3	○	○	○	○	○	○	○	○*4	○*4	○*4

○：使用可

×

*1：幅 120dot 以下で高さ 160dot 以下の画像データでは使用できません。

*2：電話帳画像 (170 × 83) を超えるサイズの場合のみ使用できます。

*3：0.5 倍への縮小は行えません。

*4：画像が大きいくほど、拡大の最大倍率は小さくなります。

■画像データにフレームを付ける

画像の周囲にフレームを付けます。フレームを付けることができる画像データは、ケータイサイズ (120 × 160) と壁紙サイズ (240 × 320) だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(≧ 13-56 ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューの (画像編集) を押す

3 (フレーム) を押す

4 ~ のいずれかを押す

▶ (固定フレーム) を押すと

本電話機に用意されているフレームが表示されます。 を押すごとに、サムネイル表示と名前一覧とが切り替わります。 でフレームを選択し、 を押します。選択したフレームが添付された画像が表示されます。

▶ (データフォルダ) を押すと

データフォルダが表示されるので、フレームのあるフォルダを表示し、 でフレームを選択して  を押します。選択したフレームが添付された画像が表示されます。

▶ (microSD) を押すと

microSD カードのフォルダが表示されるので、フレームのあるフォルダを表示し、 でフレームを選択して  を押します。選択したフレームが添付された画像が表示されます。

5 選択したフレームでよければ を押す

▶ 他のフレームを表示するには

 (前候補)、 (次候補) を押し、前後のフレームに切り替えることができます。

6 (保存) を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

 (編集) を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、 を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- フレームとして使用できる画像データは、PNG形式でサイズがケータイサイズ(120×160)のものです。透過色(フレームの透過部分の色)は#FFFFFFです。

■ 画像データにスタンプを貼り付ける

画像データに、丸付き数字、矢印、「ご案内」「回覧」「報告」などのスタンプを貼り付けることができます。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが320dot以下の場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(P.13-56ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューの (画像編集) を押す

3 (スタンプ貼付け) を押す

4 ~ のいずれかを押す

▶ (固定スタンプ) を押すと

本電話機に用意されているスタンプの一覧が表示されます。 を押すごとに、サムネイル表示と名前一覧とが切り替わります。 でスタンプを選択し、 を押します。選択したスタンプが添付された画像が表示されます。

▶ (データフォルダ) を押すと

データフォルダが表示されるので、スタンプのあるフォルダを表示し、 でスタンプを選択して  を押します。選択したスタンプが添付された画像が表示されます。

▶ (microSD) を押すと

microSDカードのフォルダが表示されるので、スタンプのあるフォルダを表示し、 でスタンプを選択して  を押します。選択したスタンプが添付された画像が表示されます。

5 でスタンプの位置を調整する

▶ スタンプを移動するには

 で2dotずつスタンプの位置を移動することができます。 を約1秒以上押し続けると10dotずつ移動します。

▶ 他のスタンプを表示するには

 (前候補)、 (次候補) を押し、前後のスタンプに切り替えることができます。

6 選択したフレームでよければ を押す

7 (保存) を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

 (編集) を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

8 画像データの新しいファイル名を入力し、 を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- スタンプとして使用できる画像データは、PNG形式でサイズが20×20または30×30のものです。透過色(スタンプの透過部分の色)は#FFFFFFです。

■ 画像データに文字を入力する

画像データに重ねて文字を入力することができます。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが320dot以下の場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(※ 13-56ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューの (画像編集) を押す

3 (文字入力) を押す

4 ダイヤルボタンで文字を入力する

全角32文字(半角64文字)まで入力することができます。

5 を押す

画像データに重ねて文字が表示されます。

6 で文字の位置を調整する

 で2dotずつ文字の位置を移動することができます。 を約1秒以上押し続けると10dotずつ移動します。

■ 画像データをアレンジする

画像データの色を変換したり、タイル状に並べたりすることができます。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが320dot以下の場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(※ 13-56ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューの (画像編集) を押す

3 (フォトアレンジ) を押す

4 ~ のいずれかを押す

▶ (セピア) を押すと

画像データがセピア色に変換されます。

▶ (モノクロ) を押すと

画像データがモノクロに変換されます。

▶ 文字の色を変更するには

文字の色は7種類から選択できます。 (文字色) を押すごとに色が変わります。

7 を押す

8 (保存) を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

 (編集) を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

9 画像データの新しいファイル名を入力し、 を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

▶ (タイル4分割) を押すと

縮小した画像データをタイル状に4枚並べた画像に変換されます。

▶ (タイル9分割) を押すと

縮小した画像データをタイル状に9枚並べた画像に変換されます。

▶ (タイル16分割) を押すと

縮小した画像データをタイル状に16枚並べた画像に変換されます。

5 を押す

▶ 他のアレンジを表示するには

 (前候補)、 (次候補) を押し、前後のアレンジに切り替えることができます。

6 (保存) を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

 (編集) を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

■ 画像データを切り取る

画像データを電話帳用のサイズなどに切り取ります。この機能が使用できるのは、画像データの幅と高さが640dot以下で、切り取りサイズを超えるサイズの場合だけです。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(※ 13-56ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューの (画像編集) を押す

3 (切り取り) を押す

4 ~ のいずれかを押す

切り取り範囲を表す赤色の点線が表示されます。画像データのサイズが切り取りサイズ以下の場合には選択できません。

▶ (QQVGA (120×160)) を押すと

画像データからQQVGA (120×160) のサイズを切り取ります。

▶ (QVGA (240×320)) を押すと 画像データからQVGA (240×320) のサイズを切り取ります。

▶ (電話帳画像 (170×83)) を押すと

画像データから電話帳画像 (170×83) のサイズを切り取ります。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、 を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

5 で切り取り位置を調整する

 で2dotずつ切り取り位置を移動することができます。 を約1秒以上押し続けると10dotずつ移動します。

6 を押す

切り取ったイメージが表示されます。

7 (保存) を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

 (編集) を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

8 画像データの新しいファイル名を入力し、 を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- 電話帳画像のサイズに切り取った画像は、電話帳に登録することができます。登録した画像は、その相手から電話がかかってきたときに画面に表示されます。「電話帳に登録する」(※ 7-46ページ)

■画像データを回転する

画像データを90度単位で回転します。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(※P.13-56ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューの (画像編集) を押す

3 (回転) を押す

4 (左回転) または (右回転) を押す

▶ (左回転) を押すと

押すたびに画像データが90度左回転します

▶ (右回転) を押すと

押すたびに画像データが90度右回転します。

5 を押す

6 (保存) を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

 (編集) を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、 を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

■画像データを拡大／縮小する

画像データを0.5～2.0倍の範囲で拡大または縮小します。

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」(※P.13-56ページ)

2 (メニュー) を押し、サブメニューの (画像編集) を押す

3 (拡大／縮小) を押す

4 ～ のいずれかを押しして倍率を選択する

選択した倍率で画像データが表示されます。

5 を押す

6 (保存) を押す

ファイル名編集画面が表示されます。

▶ 他の画像編集機能を使用するには

 (編集) を押すと画像編集のメニューが表示され、編集中の画像データに対してさらに他の機能で編集を加えることもできます。

7 画像データの新しいファイル名を入力し、 を押す

編集によって作成された画像データが保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- 120×120dot以下のサイズの画像データに対しては、0.5倍の縮小は行えません。
- 拡大の最大倍率は2.0倍ですが、VGAを越えるサイズの画像データに対しては、最大倍率は1.4～0.5倍になります。

サウンドデータを活用する

サウンドデータ (.dxxm, .mid, .midi) を再生したり、着信音など各種機能に設定したりできます。サウンドデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

: フィールサウンドデータ (.dxxm)

: MIDIデータ (.midi, .mid)

サウンドデータを聴く

データフォルダ内のサウンドデータを再生します。

1 待ち受け画面で を押す

2 でサウンドデータを選択し、 (再生) を押す

再生画面が表示されます。

3 (再生) を押す

サウンドデータが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

▶ 停止するには

 () を押します。

▶ 一時停止するには

 () を押します。再度、 () を押すと、続きから再生されます。

▶ レシーバから音を聞くには

再生中に  (レシーバ) を押します。スピーカに切り替えるには  (スピーカ) を押します。

▶ 音量を調節するには

再生は音量3で開始されますが、再生中に  で0～5の範囲で調節することができます。

 : 再生音量レベルが上がります。

 : 再生音量レベルが下がります。

お知らせ

- 再生中に、 で前の、 で次のサウンドデータを再生します。
- 再生画面の基本的な操作はICレコーダと共通です。ただし、早送り・巻き戻しはできません。また、データの年月日などの情報や再生の進行を表すインジケータも表示されません。「音声を再生する」(#13-35ページ)
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、サウンドデータを再生しようとする、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して  を押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。
- .dxxm形式のサウンドデータは64和音 feelsoundのものだけが再生できます。他の feelsoundは再生できません。
- 再生できるサウンドデータのサイズは350Kバイトまでです。

サウンドデータを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内のサウンドデータを、各種機能に設定できます。サウンドデータは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

1 待ち受け画面で を押す

2 で「サウンドデータ」を選択し、 を押す

3 でサウンドデータを選択し、 (メニュー) を押す

4 (音設定) を押す

5 ~ 、、 のいずれかを 押す

選択した機能に対してサウンドデータが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- microSDカードのサウンドデータを各種機能に設定した場合は、本体の「サウンドデータ」フォルダにデータがコピーされ、そのデータが使用されます。コピー先と同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- サウンドデータの再生画面で  (メニュー) を押し、 (音設定) を選択して機能を設定することもできます。

録音データを活用する

録音データ(.3g2)を再生したり、着信音など各種機能に設定したりできます。「録音データ」フォルダは、「ICレコーダ」フォルダ、「留守録音」フォルダ、「通話録音」フォルダの3つに分かれています。保存されているデータの形式はどのフォルダも同じで、再生や着信音などへの設定も同じ操作で行うことができます。

録音データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

-  : 未再生のICレコーダデータ (.3g2)
-  : 再生済みのICレコーダデータ (.3g2)
-  : 未再生の留守録音データ (.3g2)
-  : 再生済みの留守録音データ (.3g2)
-  : 未再生の通話録音データ (.3g2)
-  : 再生済みの通話録音データ (.3g2)
-  : その他の録音データ (.3g2)

お知らせ

- 「シークレットデータ」、「著作権ありデータ」フォルダ内にある録音データを再生した場合は、再生済みのファイル名およびアイコンにはなりません。
- 「その他の録音データ」として再生できるのは、出力サンプリングレートが8kHzで、モノラルでAACエンコーディングされた3GPデータ(拡張子.3g2)です。

録音データを聴く

「その他の録音データ」の再生方法を説明します。

「ICレコーダ」フォルダの録音データについては、「ICレコーダを利用する」(P.13-34ページ)を参照してください。

「留守録音」フォルダの録音データについては、「留守録音を設定する」(P.7-74ページ)を参照してください。

「通話録音」フォルダの録音データについては、「通話を録音する(通話録音)」(P.7-12ページ)を参照してください。

1 待ち受け画面で を押す

2 データフォルダで再生する録音データを選択し、 (再生) を押す

再生画面が表示されます。

3 (再生) を押す

録音データが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

▶ 停止するには

() を押します。

▶ 一時停止するには

() を押します。再度、 () を押すと、続きから再生されます。

▶ スピーカから音を聞くには

再生中に (スピーカ) を押します。レシーバに切り替えるには (レシーバ) を押します。

▶ 再生中の録音データを削除するには

- ・ICレコーダの場合:再生中に (メニュー) を押し、 (一件削除) を押します。
- ・留守録音、通話録音の場合:再生中に (削除) を押します。

「削除しますか?」と表示されるので で「Yes」を選択して を押します。フォルダ内に録音データがある場合は、次の録音データが再生されます。録音データが1件もない場合には、元の画面に戻ります。

▶ 音量を調節するには

再生は音量3で開始されますが、再生中に で0～5の範囲で調節することができます。

: 再生音量レベルが上がります。

: 再生音量レベル下がります。

お知らせ

- 再生中に、 で前の、 で次の録音データを再生します。
- 再生画面の基本的な操作はICレコーダと共通です。ただし、早送り・巻き戻しはできません。また、データの年月日などの情報や再生の進行を表すインジケータも表示されません。「音声を再生する」(P.13-35ページ)
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音データを再生しようとする、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホン挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

録音データを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内の録音データを、各種機能に設定できます。録音データは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

1 待ち受け画面で   を押す

2  で「録音データ」を選択し、
 を押す

3  で「ICレコーダ」、「留守録音」、「通話録音」のいずれかを選択し、 を押す

4  で録音データを選択し、 (メニュー) を押す

5  (音設定) を押す

6  ~ 、、 のいずれかを
押す

選択した機能に対して録音データが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- microSDカードの録音データを各種機能に設定した場合は、本体のフォルダにデータがコピーされ、そのデータが使用されます。コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 録音データの再生画面で  (メニュー) を押し、 (音設定) を選択して機能を設定することもできます。

テキストデータを開く

テキストデータ (.txt) の内容を表示することができます。テキストデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

 : テキストデータ (.txt)

1 待ち受け画面で   を押す

2 開きたいテキストデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※P.13-55ページ)

3  でテキストデータを選択し、
 を押す

テキストデータの内容が表示されます。

▶ テキストに電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは

テキストデータ中の電話番号、メールアドレス、URLは、 で順に選択していくことができます。これらを選択した状態で  を押し、以下の機能を行うことができます。
電話番号：選択されている電話番号に電話をかけることができます。
メールアドレス：選択されているメールアドレスあてにEメールを作成して送信することができます。
URL：選択されているURLのWebページに接続します。

▶ 前後のページを表示するには

 で前のページ、 で次のページが表示されます。

パソコンの文書データを開く

パソコンなどで作成した各種の文書データを開いて内容を確認することができます。開くことのできる文書データは、次のとおりです。

 : Microsoft Word97/2000/2002/2003データ (.doc)

 : Microsoft Excel97/2000/2002/2003データ (.xls)

 : Microsoft PowerPoint97/2000/2002/2003データ (.ppt)

 : PDFデータ (バージョン1.5) (.pdf)

1 待ち受け画面で   を押す

2 開きたい文書データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※P 13-55ページ)

3  で文書データを選択し、 を押す

ドキュメントビューア(表示用プログラム)が起動し、データの内容が表示されます。

▶ スクロールするには

 で上下左右にスクロールできます。

4  (終了) を押す

終了するか確認の画面が表示されます。

5  で「Yes」を選択し、 を押す

ドキュメントビューアが終了します。

Wordデータを閲覧する

Wordデータを表示している場合、 (メニュー) から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
ページ移動	最初のページへ移動	最初のページが表示されます。
	最後のページへ移動	最後のページが表示されます。
	次のページへ移動	次のページが表示されます。
	前のページへ移動	前のページが表示されます。
	指定のページへ移動	指定のページへ移動画面が表示されます。  (編集) を押してページ番号を入力し、  (移動) を押すと、指定したページが表示されます。
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	ページが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	ページが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	ページ全体が画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	倍率を直接指定画面が表示されます。  (編集) を押して 10%~400%の範囲で表示倍率を入力し、  (決定) を押すと、指定した表示倍率に変更されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
回転		表示が右に 90 度回転します。
検索		<p>検索画面が表示されます。</p> <p> (編集) を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、 (検索) を押すと、指定した文字列が検索されます。次の条件が設定できます。設定するには、 で項目を選択して  を押します。</p> <p>大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。</p> <p>単語検索：単語単位で一致するものを検索したい場合はオンにします。</p> <p>下へ検索：現在の表示箇所から下方向に検索します。</p> <p>上へ検索：現在の表示箇所から上方向に検索します。</p>
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します (ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能)。「データフォルダを活用する」(P. 13-53 ページ)
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

- 一部正常に表示できないものがあります。

Excel データを閲覧する

Excel データを表示している場合、 (メニュー) から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
ページ移動	最初のページへ移動	最初のページが表示されます。
	最後のページへ移動	最後のページが表示されます。
	次のページへ移動	次のページが表示されます。
	前のページへ移動	前のページが表示されます。
	指定のページへ移動	<p>指定のページへ移動画面が表示されます。</p> <p> (編集) を押してページ番号を入力し、 (移動) を押すと、指定したページが表示されます。</p>
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	ワークシートが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	ワークシートが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	ワークシート全体が画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	<p>倍率を直接指定画面が表示されます。</p> <p> (編集) を押して 10%～400% の範囲で表示倍率を入力し、 (決定) を押すと、指定した表示倍率に変更されます。</p>

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
回転		表示が右に 90 度回転します。
検索		検索画面が表示されます。 <input type="checkbox"/> (編集) を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、 <input type="checkbox"/> (検索) を押すと、指定した文字列が検索されます。次の条件が設定できます。設定するには、 <input type="checkbox"/> で項目を選択して <input type="checkbox"/> を押します。 大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。 行：横方向に検索します。 列：下方向に検索します。
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します（ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能）。「データフォルダを活用する」(P.13-53 ページ)
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

- 一部正常に表示できないものがあります。

PowerPoint データを閲覧する

PowerPoint データを表示している場合、 (メニュー) から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
スライドショーの実行		スライドショーが実行されます。
スライド移動	最初のスライドへ移動	最初のスライドが表示されます。
	最後のスライドへ移動	最後のスライドが表示されます。
	次のスライドへ移動	次のスライドが表示されます。
	前のスライドへ移動	前のスライドが表示されます。
	指定のスライドへ移動	指定のスライドへ移動画面が表示されます。 <input type="checkbox"/> (編集) を押してスライド番号を入力し、 <input type="checkbox"/> (移動) を押すと、指定したスライドが表示されます。
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	スライドが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	スライドが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	スライド全体が画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	倍率を直接指定画面が表示されます。 <input type="checkbox"/> (編集) を押して 10%～400%の範囲で表示倍率を入力し、 <input type="checkbox"/> (決定) を押すと、指定した表示倍率に変更されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
回転		表示が右に 90 度回転します。
検索		<p>検索画面が表示されます。</p> <p> (編集) を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、 (検索) を押すと、指定した文字列が検索されます。次の条件が設定できます。設定するには、 で項目を選択して  を押します。</p> <p>大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。</p> <p>単語検索：単語単位で一致するものを検索したい場合はオンにします。</p> <p>下へ検索：現在の表示箇所から下方向に検索します。</p> <p>上へ検索：現在の表示箇所から上方向に検索します。</p>
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します (ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能)。「データフォルダを活用する」(P. 13-53 ページ)
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

- 一部正常に表示できないものがあります。

PDFデータを閲覧する

PDFデータを表示している場合、 (メニュー) から次の操作が行えます。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
ページ移動	最初のページへ移動	最初のページが表示されます。
	最後のページへ移動	最後のページが表示されます。
	次のページへ移動	次のページが表示されます。
	前のページへ移動	前のページが表示されます。
	指定のページへ移動	<p>指定のページへ移動画面が表示されます。</p> <p> (編集) を押してページ番号を入力し、 (移動) を押すと、指定したページが表示されます。</p>
表示設定	ズームイン	表示が拡大されます。
	ズームアウト	表示が縮小されます。
	幅に合わせる	ページが画面の幅に合うよう表示倍率が調整されます。
	高さに合わせる	ページが画面の高さに合うよう表示倍率が調整されます。
	全体表示	ページが画面内に収まるよう表示倍率が調整されます。
	倍率を直接指定	<p>倍率を直接指定画面が表示されます。</p> <p> (編集) を押して 10%～400%の範囲で表示倍率を入力し、 (決定) を押すと、指定した表示倍率に変更されます。</p>

メニュー項目	サブメニュー項目	機能
検索		<p>検索画面が表示されます。</p> <p> (編集) を押して検索文字列欄に検索したい文字列を入力し、 (検索) を押すと、指定した文字列が検索されます。次の条件が設定できます。設定するには、 で項目を選択して を押します。</p> <p>大文字・小文字を区別：英字の文字列の検索で、大文字と小文字を区別したい場合はオンにします。</p> <p>単語検索：単語単位で一致するものを検索したい場合はオンにします。</p> <p>下へ検索：現在の表示箇所から下方向に検索します。</p> <p>上へ検索：現在の表示箇所から上方向に検索します。</p>
しおり一覧		<p>しおり一覧画面が表示されます。</p> <p> でしおりを選択し、 を押すと、指定したしおりのページが表示されます。</p>
レイアウト設定	単一ページ	1 ページ単位で表示されます。表示中のページの下端までスクロールすると、自動的に次のページが表示されます。
	連続ページ	連続ページで表示されます。表示中のページの下端までスクロールすると、自動的に次のページが表示されます。
	見開きページ	2 ページ単位で表示されます。
	回転	表示が右に 90 度回転します。
ファイル情報		PDF のタイトル、作成者、作成日時などの情報が表示されます。
ファイル保存		データフォルダにデータを保存します (ネットワーク上のデータを開いた場合のみ保存可能)。「データフォルダを活用する」(※ 13-53 ページ)
ショートカット一覧		ダイヤルボタンと機能の対応を表示します。

お知らせ

- 一部正常に表示できないものがあります。
- ファイル保存は、ネットワーク上の PDF ファイルを開いているときのみ可能です。

圧縮データを開く

LZH形式またはZIP形式で圧縮されたデータを展開し、圧縮前の状態に戻して別のデータとして保存します。圧縮されたデータも削除されずに残ります。

展開することができる圧縮データは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。

: LZH形式圧縮データ (.lzh)

: ZIP形式圧縮データ (.zip)

1 待ち受け画面で を押す

2 開きたい圧縮データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※ 13-55 ページ)

3 で圧縮データを選択し、 を押す

「圧縮ファイルを展開しますか?」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

展開が完了すると、「展開しました」と表示されます。展開されたデータは元データと同じフォルダに保存されます。

お知らせ

- 圧縮データの展開によって空き容量が不足する場合は、展開が中止されます。
- パスワードの設定された圧縮データは展開できません。
- コピーガードされた圧縮データは展開できません。

HTML データを開く

HTMLデータ (.htm、.html) の内容を表示することができます。HTMLデータは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。

 : HTMLデータ (.htm、.html)

1 待ち受け画面で を押す

2 開きたいHTMLデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※ 13-55ページ)

3 でHTMLデータを選択し、 を押す

ブラウザが起動し、HTMLデータの内容が表示されます。

お知らせ

- ブラウザの使用方法については、「ブラウザの各種機能を設定する」(※ 9-31ページ)を参照してください。

Javaアプリケーションを活用する

Javaアプリケーションをインストールする

データフォルダにダウンロードしたJavaアプリケーションをインストールします。Javaアプリケーションは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。インストールするときは  を開いてください。

 : Javaアプリケーション (.jar)

 : Javaアプリケーション (.jad)

 : Javaアプリケーション (.url)

1 待ち受け画面で を押す

2 開きたいJavaアプリケーションのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※ 13-55ページ)

3 でJavaアプリケーション

() を選択し、 を押す

「Java™アプリをインストールしますか?」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されます。

5 を押す

お知らせ

- Javaアプリケーションをインストールするには、Javaアプリケーションデータ（と)がmicroSDカードの「PCデータ」フォルダにある必要があります。他のフォルダにある場合は、「PCデータ」フォルダに移動してからインストールしてください。
- インストールしたJavaアプリケーションを実行する方法については、「Javaアプリケーションを実行する」(≡同じページ内です。)を参照してください。
- インストールしたJavaアプリケーションは、本電話機の電源を切っても消えません。
- Javaアプリケーションのインストール時にはjvinstall.txtというファイルが生成され、インストール終了後に自動的に削除されます。インストールが失敗した場合にはjvinstall.txtが残ることがありますが、削除してもかまいません。
- ブラウザでWebサーバ上のJavaアプリケーション(.jad)をインストールすることもできます。Javaアプリケーションへのリンクを選択してを押すと、「インストールしますか?」と表示されるので、「Yes」を選択してを押します。これによりJavaアプリケーションがインストールされます。

Javaアプリケーションを実行する

インストールされているJavaアプリケーションを実行します。

1 待ち受け画面で を押す

Java管理画面に、インストールされているアプリケーションとフォルダが表示されます。

：フォルダ

：Javaアプリケーション（アプリケーション独自のアイコンで表示されるものもあります）

▶ フォルダを開くには

でフォルダを選択し、を押すと、フォルダが開いて内容が表示されます。

2 で実行するJavaアプリケーションを選択し、を押す

Javaアプリケーションを管理する

■ フォルダを作成する

新しくフォルダを作成します。

1 待ち受け画面で を押す

Java管理画面が表示されます。

2 （メニュー）を押し、（新規フォルダ作成）を押す

フォルダ名入力画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力し、を押す

フォルダが作成され、「作成しました」と表示されます。

お知らせ

- Java管理画面に表示されるフォルダは、Javaの動作環境内だけで使用する仮想的なフォルダです。データフォルダに表示されるフォルダとは異なります。
- 作成したフォルダ内にさらにフォルダを作成することはできません。
- microSDカードを取り付けた場合は、「EX_CARD」というフォルダが自動的に表示されます。

■フォルダ名を変更する

Java 管理画面のフォルダ名を変更します。

1 待ち受け画面で を押す

Java 管理画面が表示されます。

2 でフォルダを選択し、 (メニュー) を押す

3 (フォルダ名編集) を押す

フォルダ名編集画面が表示されます。

4 フォルダ名を編集し、 を押す

フォルダ名が変更され、「変更しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションを移動する

Java アプリケーションを別のフォルダに移動します。

1 待ち受け画面で を押す

Java 管理画面が表示されます。

2 で移動する Java アプリケーションを選択し、 (メニュー) を押す

4 で移動先フォルダを選択し、 を押す

Java アプリケーションが移動し、「移動しました」と表示されます。

3 (移動) を押す

フォルダ選択画面が表示されます。

お知らせ

- Java アプリケーションを microSD カードに保管したい場合は、「EX_CARD」フォルダに Java アプリケーションを移動してください。

■Javaアプリケーションを更新する

インストールされている Java アプリケーションをインターネット上の最新のバージョンに更新します。

1 待ち受け画面で を押す

Java 管理画面が表示されます。

2 で更新する Java アプリケーションを選択し、 (メニュー) を押す

4 で「Yes」を選択し、 を押す

インターネット上の最新バージョンが確認され、インストールを確認するメッセージが表示されます。

3 (アップデート) を押す

「アップデートしますか?」と表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

更新が完了すると、「アップデートを完了しました。アプリケーションを起動しますか?」と表示されます。

6 を押す

便利な使いかた

データフォルダを活用する

■Javaアプリケーションを一件削除する

インストールされているJavaアプリケーションを削除します。

1 待ち受け画面で を押す

Java 管理画面が表示されます。

2 で削除するJavaアプリケーションを選択し、 (メニュー) を押す

3 (削除) を押す

「削除しますか?」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順4の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ  で「Yes」を選択し、 を押して処理を続行してください。

■フォルダを一件削除する

Java 管理画面に表示されるフォルダを一件削除します。フォルダ内にJavaアプリケーションがある場合は削除できないので、あらかじめそのフォルダ内のJavaアプリケーションを削除しておいてください。「Javaアプリケーションを一件削除する」(※同じページ内です)。

1 待ち受け画面で を押す

Java 管理画面が表示されます。

2 で削除するフォルダを選択し、 (メニュー) を押す

3 (フォルダ削除) を押す

「削除しますか?」と表示されます。

4 で「Yes」を選択し、 を押す

フォルダが削除され、「削除しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションとフォルダを全件削除する

本電話機にインストールされているJavaアプリケーションとJava管理画面に表示されるフォルダをすべて削除します。ただし、microSDカードを取り付けたときに表示される「EX_CARD」フォルダと、「EX_CARD」フォルダに移動したJavaアプリケーションは削除されません。

1 待ち受け画面で を押す

Java 管理画面が表示されます。

2 で (メニュー) を押す

3 Javaアプリケーションを選択しているときは (全削除) を、フォルダを選択しているときは (全削除) を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※11-12ページ) 認証されると、「全て削除しますか?」と表示されます。

5 で「Yes」を選択し、 を押す

Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順4の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ  で「Yes」を選択し、 を押して処理を続行してください。

■Javaアプリケーションを並べ替える

現在表示しているフォルダ内のJavaアプリケーションやフォルダの表示順序を変更します。

1 待ち受け画面で    を押す

Java管理画面が表示されます。

2  でいずれかのJavaアプリケーションを選択し、 (メニュー) を押す3  (ソート) を押す

並べ替え方法の一覧が表示されます。

4  で並べ替え方法を選択し、 を押す

お知らせ

- フォルダの順序が変わるのは、「名前-昇順」と「名前-降順」だけです。他の項目を選択した場合は、フォルダは常にJavaフォルダより上に表示されます。

■Javaアプリケーションの詳細情報を表示する

Javaアプリケーションのバージョンやサイズなどの情報を表示します。

1 待ち受け画面で    を押す

Java管理画面が表示されます。

2  でJavaアプリケーションを選択し、 (メニュー) を押す3  (詳細情報) を押す

詳細情報画面にJavaアプリケーションの情報が表示されます。

■Javaアプリケーションのネットワーク接続について設定する

Javaアプリケーションからのネットワーク接続に対する許可のしかたを設定します。

1 待ち受け画面で    を押す

Java管理画面が表示されます。

2  で設定するJavaアプリケーションを選択し、 (メニュー) を押す4  で許可方法を選択し、 を押す5  (完了) を押す

ネットワーク接続の許可が設定され、「設定しました」と表示されます。

3  (許可設定) を押し、 を押す

ネットワーク接続画面が表示されます。Javaアプリケーションからのネットワーク接続の許可をいつ確認するかを選択します。

1度だけ確認：最初の起動時に一度だけ確認しません。

起動ごとに確認：起動するごとに確認します。

使用ごとに確認：使用するごとに確認します。

許可しない：ネットワーク接続を許可しません。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、ネットワーク接続の設定ができない場合もあります。

■ システム情報を表示する

Javaシステムの使用しているメモリ容量とメモリの空き容量を表示します。

1 待ち受け画面で を押す

Java管理画面が表示されます。

2 (メニュー) を押す

3 Javaアプリケーションを選択しているときは (システム情報) を、フォルダを選択しているときは (システム情報) を押す

システム情報画面に、使用中のメモリ容量 (XXXX Byte使用) とメモリの空き容量 (XXXX Byteフリー) が表示されます。

データを管理する

データを並べ替える

フォルダ内のデータの順序を、作成日時順、更新日時順、ファイルサイズ順、ファイル名順、ファイル種別順で並べ替えることができます。

1 待ち受け画面で を押す

2 データを並べ替えるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※P 13-55ページ)

3 (メニュー) を押す

4 サブメニューで「ソート」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。

5 ~ のいずれかを押す

選択した順でデータが並べ替えられます。この設定の結果は他のフォルダにも反映されます。各設定の意味は次のとおりです。

- 作成日時順 (新→古) : 作成日時の新しい順
- 作成日時順 (古→新) : 作成日時の古い順
- 更新日時順 (新→古) : 更新日時の新しい順
- 更新日時順 (古→新) : 更新日時の古い順
- ファイルサイズ順 (小→大) : サイズの小さい順
- ファイルサイズ順 (大→小) : サイズの大きい順
- ファイル名順 (昇順) : ファイル名の文字コードの小さい順
- ファイル名順 (降順) : ファイル名の文字コードの大きい順
- ファイル種別順 : ファイルの種別順

お知らせ

- お買い上げ時には、「作成日時順 (新→古)」に設定されています。

データの詳細情報を表示する

データについての詳しい情報を表示します。
表示されるのは次の情報です。

情報	説明	データの種類		
		画像データ	サウンドデータ	その他のデータ
ファイル名	ファイル名 (拡張子含む)	○	○	○
タイトル名	サウンドデータのタイトル	×	○	×
画像サイズ	画像の幅×画像の高さ	○	×	×
ファイルサイズ	データのサイズ (KB)。表示できる最大のサイズは 999999KByte で、それを超える場合も 999999KByte と表示されます。	○	○	○
作成日時	データの作成された日時	○	○	○
更新日時	データに変更が加えられた日時	○	○	○
コピーガード	コピーガードの有無	○	○	○
設定	壁紙や着信音などの設定先。どの機能にも設定されていないときは「設定なし」と表示されます。	○	○	○
場所	データが実際にある場所	○	○	○

○：表示あり

×：表示なし

1 待ち受け画面で を押す

2 詳細情報を表示するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※P.13-55ページ)

3 で詳細情報を表示するデータを選択し、 (メニュー) を押す

4 サブメニューで「詳細情報」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。
データの詳細情報が表示されます。

▶ 詳細情報の続きを表示するには

 で詳細情報の続きが表示され、 で前に戻ります。

お知らせ

- ICレコーダ、留守録音、通話録音のデータには、ファイル名の前にも次の拡張子がつきます。

ICレコーダのデータ : `IU_` または `IA_`
留守録音のデータ : `MU_` または `MA_`
通話録音のデータ : `PU_` または `PA_`

「U」は未再生状態、「A」は再生済みであることを示します。

データを移動／コピーする

■本体から本体へ／ microSD カードから microSD カードへ移動する

データを本体のフォルダ間で、または microSD カードのフォルダ間で移動します。

1 待ち受け画面で **[MENU]** **[OK]** を押す

2 移動元データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※ 13-55 ページ)

3 **[F2]** で移動するデータを選択し、**[MENU]**
(メニュー) を押す

4 **[F1]** (移動) または **[F2]** (移動) を押す

カーソルが画像データ、サウンドデータ、録音データにあるときは **[F2]** が、それ以外のときは **[F1]** が「移動」になります。

5 **[F1]** ~ **[F3]** のいずれかを押す

1 件だけ移動する場合は **[F1]** (一件移動)、複数のデータを選択して移動する場合は **[F2]** (選択移動)、フォルダ内の全データを移動する場合は **[F3]** (全件移動) を押します。

移動先として選択できるフォルダの一覧が表示されます。

▶ 選択移動でデータを選択するには

[F2] (選択移動) を押した場合は、データ選択の画面が表示されるので、**[F2]** で移動するデータを選択し、**[F1]** (チェック) を押します。データの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度 **[F1]** (チェック) を押します。**[MENU]** (メニュー) を押し、**[F1]** (全件選択) や **[F2]** (全件解除) を押し、全件まとめて選択したり、選択解除したりできます。移動するデータを選択し終わったら **[MENU]** (移動) を押します。

6 **[F2]** で移動先のフォルダを選択し、**[F1]** を押す

データが移動し、「移動しました」と表示されます。

お知らせ

- 移動先に同じ名前のデータがある場合は、移動するデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 本体から本体、microSD カードから microSD カードへデータを移動する場合は、移動可能なフォルダしか選択できません。
- 移動先に「シークレットデータ」フォルダを選択した場合は、指紋認証または暗証番号認証が必要です。「指紋や暗証番号で認証を行う」(※ 11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※ 11-12 ページ)

■本体から microSD カードへ／ microSD カードから本体へコピーする

本体にあるデータを microSD カードへコピーします。microSD カードにあるデータを本体へコピーする場合も同じ操作となります(ただし、手順4で選択する項目が「本体へコピー」になります)。

コピー先は、コピーするデータの種類によって自動的に選択されます。

<本体から microSD カードへのコピーの場合>

データの種類	コピー先フォルダ
「カメラデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
IC レコーダの録音データ	「IC レコーダ」フォルダ

データの種類	コピー先フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
メールBOXバックアップデータ	「メールBOXバックアップ」フォルダ
電話帳バックアップデータ	「電話帳バックアップ」フォルダ
スケジュールバックアップデータ	「スケジュールバックアップ」フォルダ
ブックマークバックアップデータ	「ブックマークバックアップ」フォルダ
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

< microSDカードから本体へのコピーの場合 >

データの種類	コピー先フォルダ
「カメラデータ」、「デジカメデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
ICレコーダの録音データ	「ICレコーダ」フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
2次元コードログ	「2次元コードログ」フォルダ
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

1 待ち受け画面で を押す

2 コピー元データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※P.13-55ページ)

3 でコピーするデータを選択し、 (メニュー) を押す

4 サブメニューで「microSDへコピー」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。

5 ~ のいずれかを押す

1件だけコピーする場合は  (一件コピー)、複数のデータを選択してコピーする場合は  (選択コピー)、フォルダ内の全データをコピーする場合は  (全件コピー) を押します。

▶ 選択コピーでデータを選択するには

 (選択コピー) を押した場合は、データ選択の画面が表示されるので、 でコピーするデータを選択し、 (チェック) を押します。データの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押します。 (メニュー) を押し、 (全件選択) や  (全件解除) を押すと、全件まとめて選択したり、選択解除したりできます。コピーするデータを選択し終えたら  (コピー) を押します。

お知らせ

- コピー先に同じ名前のデータがある場合は、コピーするデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 本体から本体、microSDカードからmicroSDカードへのコピーはできません。
- コピーガードされたデータはコピーできません。
- 本体とmicroSDカード間でのコピーでは、コピー先のフォルダを設定することはできません。コピーするデータの種類別に固定設定されているフォルダへコピーされます。

■ 本体からmicroSDカードへ／microSDカードから本体へ移動する

本体にあるデータをmicroSDカードへ移動します。microSDカードにあるデータを本体へ移動する場合も同じ操作となります（ただし、手順4で選択する項目が「本体へ移動」になります）。

移動先は、移動するデータの種類によって自動的に選択されます。

< 本体からmicroSDカードへの移動の場合 >

データの種類	移動先フォルダ
「カメラデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
ICレコーダの録音データ	「ICレコーダ」フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
メールBOXバックアップデータ	「メールBOXバックアップ」フォルダ
電話帳バックアップデータ	「電話帳バックアップ」フォルダ
スケジュールバックアップデータ	「スケジュールバックアップ」フォルダ
ブックマークバックアップデータ	「ブックマークバックアップ」フォルダ
コピーガードされたデータ	「著作権ありデータ」フォルダ（コピーガードされたデータは、データの種類に関わらず「著作権ありデータ」フォルダに移動されます。ただし、コピーガードされたフィールサウンドデータは移動できません。）
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

< microSDカードから本体への移動の場合 >

データの種類	移動先フォルダ
「カメラデータ」、「デジカメデータ」フォルダ内の画像データ	「カメラデータ」フォルダ
それ以外の画像データ	「画像データ」フォルダ
サウンドデータ	「サウンドデータ」フォルダ
ICレコーダの録音データ	「ICレコーダ」フォルダ
留守録音データ	「留守録音」フォルダ
通話録音データ	「通話録音」フォルダ
2次元コードログ	「2次元コードログ」フォルダ

データの種類	移動先フォルダ
上記以外のデータ	「その他データ」フォルダ

1 待ち受け画面で を押す

2 移動元データのあるフォルダを表示する 「データフォルダを表示する」(P.13-55ページ)

3 で移動するデータを選択し、 (メニュー) を押す

4 サブメニューで「microSDへ移動」を 選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。

5 ~ のいずれかを押す

1件だけ移動する場合は  (一件移動)、複数のデータを選択して移動する場合は  (選択移動)、フォルダ内の全データを移動する場合は  (全件移動) を押しします。

▶ 選択移動でデータを選択するには

 (選択移動) を押した場合は、データ選択の画面が表示されるので、 で移動するデータを選択し、 (チェック) を押しします。データの先頭に「」が付ききます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押しします。 (メニュー) を押し、 (全件選択) や  (全件解除) を押しすと、全件まとめて選択したり、選択解除したりできます。移動するデータを選択し終えたら  (移動) を押しします。

お知らせ

- 移動先に同じ名前のデータがある場合は、移動するデータの名前の最後に自動的に番号が付加され別のデータとして保存されます。
- 壁紙や着信音など、各種機能に設定されているデータを本体からmicroSDカードへ移動する場合、移動するかどうか確認するメッセージが表示されます。「Yes」を選択して移動を実行すると、そのデータを使用した機能設定は解除され、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 本体とmicroSDカード間での移動では、移動先のフォルダを設定することはできません。移動するデータの種類別に固定設定されているフォルダへ移動されます。

データを削除する

データフォルダ内のデータを削除します。

1 待ち受け画面で を押す

2 削除するデータのあるフォルダを表示する 「データフォルダを表示する」(P.13-55ページ)

3 で削除するデータを選択し、 (メニュー) を押す

4 (次頁) を押す

5 サブメニューで「一件削除」「選択削除」 「全件削除」のいずれかを選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。

▶ 選択削除でデータを選択するには

「選択削除」の場合は、データ選択の画面が表示されるので、で削除するデータを選択し、（チェック）を押します。データの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度 （チェック）を押します。（メニュー）を押し、（全件選択）や （全件解除）を押すと、全件まとめて選択したり選択解除したりできます。削除するデータを選択し終わったら （削除）を押します。

6 で「Yes」を選択し、を押す

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 壁紙や着信音など、各種機能に設定されているデータを削除する場合、削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。「Yes」を選択して削除を実行すると、そのデータを使用した機能設定は解除され、お買い上げ時の設定に戻ります。

データ名を変更する

データの名前を変更します。データの名前は、録音データの場合は「タイトル名」で、他のデータの場合は「ファイル名」と呼びますが、変更の手順は同じです。

1 待ち受け画面で を押す

2 名前を変更するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※P 13-55ページ)

3 で名前を変更するデータを選択し、（メニュー）を押す

4 サブメニューで「ファイル名編集」（「タイトル名編集」）を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。ファイル名（タイトル名）編集の画面が表示されます。

5 ファイル名（タイトル名）を編集する

「文字を入力する」(※P 7-19ページ)

拡張子を変更する

データの拡張子を変更します。拡張子を変更できるのは、「その他データ」フォルダのデータだけです。

1 待ち受け画面で を押す

6 を押す

ファイル名が変更され、「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- ファイル名（タイトル名）の先頭に「」と「」を使用することはできません。
- ファイル名（タイトル名）の中に「 ;  ¥  /  *  ?  <  >  |」を使用することはできません。
- ファイル名の長さは半角60文字（全角30文字）までです。
- 留守録音データと通話録音データは、ファイル名を編集することはできません。
- バックアップデータを編集しないでください。バックアップデータを編集した場合、正しく復元できないばかりでなく、本電話機内のデータが破損する恐れがあります。

2 「その他データ」フォルダを開く

「データフォルダを表示する」(※P 13-55ページ)

- 3  で名前を変更するデータを選択し、 (メニュー) を押す

4 サブメニューで「拡張子編集」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類により異なります。

拡張子編集の画面が表示されます。

5 拡張子を編集する

「文字を入力する」(※7-19ページ)

6 を押す

「ファイルが開けなくなる可能性があります 拡張子を変更しますか?」と表示されます。

- 7  で「Yes」を選択し、 を押す
拡張子が変更され、「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- 入力できる文字数は、半角1～4文字までです。
- 拡張子に使用できるのは、半角英字(小文字)、半角数字、半角記号です。
- 拡張子に「; , ¥ / : * ? " < > | 。 「 」 , . ° ° 」および半角スペースを使用することはできません。

データをEメールに添付する

データをEメールに添付して送信します。添付できるデータのサイズは最大350Kバイトです。JPEG画像データについては添付できるサイズに自動的に縮小することもできます。

1 待ち受け画面で を押す

2 添付するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※13-55ページ)

3 で添付するデータを選択し、 (メニュー) を押す

4 サブメニューで「Eメール添付」を選択する

メニュー番号は、選択しているデータの種類や開いているフォルダによって異なります。

選択したファイルが添付された状態でEメール作成画面が表示されます。

▶ JPEG画像データの場合は

SXGA (1280 × 960)、VGA (640 × 480)、QVGA (320 × 240) のJPEG画像データの場合は、縮小サイズ指定のメニューが表示されます。

 (サイズ変更なし) を押すと、データは縮小されません。ただし、データサイズが350Kバイトを超える場合は、 (サイズ変更なし) は選択できません。

 (VGAに縮小) を押すと、データはVGA (640 × 480) サイズに縮小されます。

 (QVGAに縮小) を押すと、データはQVGA (320 × 240) サイズに縮小されます。

 (QQVGAに縮小) を押すと、データはQQVGA (160 × 120) サイズに縮小されます。縮小されるのは添付用のコピーで、元の画像データは縮小されません。

5 各項目を入力してEメールを送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」(※8-8ページ)

お知らせ

- 縮小後のデータサイズが350Kバイトを超える場合は、さらに「サイズオーバーです 縮小保存し添付しますか?」と表示されます。で「Yes」を選択してを押し、～で縮小サイズを選択してください。再縮小によっても350Kバイト以下にならない場合は、画像データはメールに添付されません。

データ保存時にデータを整理する

ダウンロードによる画像データを保存する際などに「空き容量が足りません 整理しますか?」と表示されることがあります。この場合は、不要なデータを削除して必要な空き容量を確保することによって操作を続けることができます。

1 「空き容量が足りません 整理しますか?」と表示される

2 で「Yes」を選択し、を押す

本体またはmicroSDカード（現在の操作でデータを保存しようとしているデータフォルダ）のフォルダ一覧が表示されます。

3 でフォルダを選択し、を押す

データ一覧の画面が表示されます。

4 で削除するデータを選択し、を押す

「削除しますか?」と表示されます。

5 で「Yes」を選択し、を押す

データが削除され、「削除しました」と表示されます。必要な空き容量が確保されれば、元の操作の続きに戻ります。まだ空き容量が不足している場合は、手順3のデータ一覧の画面に戻るので、空き容量が確保できるまで手順4、5を続けます。

フォルダを管理する

フォルダを作成する

「ユーザデータ」フォルダの中に新しくフォルダを作成します。

1 待ち受け画面で を押す

2 「ユーザデータ」フォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※13-55ページ)

3  (メニュー) を押し、 (新規フォルダ作成) を押す

フォルダ名入力画面が表示されます。

4 フォルダ名を入力する

「文字を入力する」(※7-19ページ)

5 を押す

フォルダ一覧の最後に新しいフォルダが追加されます。

お知らせ

- フォルダ名の先頭に「!」と「\$」を使用することはできません。
- フォルダ名の中に「: , ¥ / : * ? * < > |」を使用することはできません。
- フォルダ名の長さは半角32文字（全角16文字）までです。
- 「ユーザデータ」フォルダの中に合計100個までフォルダを作成することができます。

メモリの使用状況を見る

本体やmicroSDカードのメモリの使用状況を帯グラフで表示します。

1 待ち受け画面で **MENU** **9** **3** **OK** を押す

2 **1** (共有メモリ使用状況) を押す

本体メモリの使用状況がKバイト単位で表示されます。

データフォルダ：データフォルダで使用している容量です。

Java™アプリ：Javaが使用している容量です。

Web：ブラウザのページメモで使用している容量です。

空き容量：使用されていない容量です。

▶ 本体とmicroSDカードを切り替えるには

microSDカードのメモリ使用状況は、**MAX** (microSD) を押すと表示されます。microSDカードの場合は、容量のパーセンテージで使用状況が表されます。**MAX** (本体) を押すと、本体のメモリ使用状況の表示に戻ります。

お知らせ

- データフォルダを表示した状態で **MEM** (メニュー) を押し、**1** (メモリ使用状況) を押してメモリ使用状況を表示することもできます。ただし、この場合は、「全削除」ボタンは表示されません。
- メールBOXの使用状況については、「メールBOXの使用状況を見る」(※8-31ページ)を参照してください。

メモリの内容をすべて削除する (全削除)

メモリの全削除を行うと、データフォルダ内のデータはすべて削除され、フォルダ構成もお買い上げ時の状態に戻ります。Javaとページメモのデータも削除されます。

1 待ち受け画面で **MENU** **9** **3** **OK** **1** を押す

メモリ使用状況が表示されます。

2 本体とmicroSDカードのうち、データを削除したいほうを表示する

▶ 本体とmicroSDカードを切り替えるには

microSDカードのメモリ使用状況は、**MAX** (microSD) を押すと表示されます。**MAX** (本体) を押すと、本体のメモリ使用状況の表示に戻ります。

3 **WEB** (全削除) を押す

4 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※11-11ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※11-12ページ)認証されると、「本体共有メモリ内を全削除しますか？」または「microSDメモリ内を全削除しますか？」と表示されます。

5 **Y** で「Yes」を選択し、**OK** を押す

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

microSDカードを初期化する

microSDカード内のデータをすべて消去し、本電話機用のデータフォルダを作成します。

- 1 待ち受け画面で   を押す
- 2  (メニュー) を押し、 (microSD 初期化) を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※ 11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※ 11-12 ページ) 認証されると、「microSD 内のデータは全て消去されます 初期化しますか?」と表示されます。

- 4  で「Yes」を選択し、 を押す
microSD カードは初期化され、「初期化しました」と表示されます。

お知らせ

- microSD カードを初めて使用する場合は、初期化を行ってください。
- microSD カードを初期化すると microSD カード内のデータはすべて消去され、元に戻すことができませんのでご注意ください。

データをバックアップする

本電話機のデータを microSD カードの「バックアップデータ」フォルダに退避させることができます。この操作を「バックアップ」と呼びます。microSD カードにデータをバックアップしておけば、何らかの原因で本電話機のデータが失われた場合でも、microSD カードからデータを復元することができます。バックアップできるデータの種類は次のとおりです。

データ	バックアップの内容
メール BOX	受信 BOX、未送信 BOX、送信 BOX の全データを 1 ファイルにまとめてバックアップします。
電話帳	電話帳の全データを 1 ファイルにまとめてバックアップします。
スケジュール	スケジュールの全データを 1 ファイルにまとめてバックアップします。
ブックマーク	ブックマークの全データを 1 ファイルにまとめてバックアップします。

■ バックアップを行う

メール BOX、電話帳、スケジュール、ブックマークの各データを microSD カードの「バックアップ」フォルダにバックアップします。

- 1 待ち受け画面で   を押す
- 2  (メニュー) を押し、 (バックアップメニュー) を押す
- 3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※ 11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※ 11-12 ページ) 認証されると、バックアップメニューが表示されます。

- 4  (バックアップ) を押す

5 バックアップ対象を選択する

 で項目を選択し、 (チェック) を押します。データの先頭に  が付きます。チェックを外すときは、再度、 (チェック) を押します。 (メニュー) を押し、 (全件選択) や  (全件解除) を押すと、全件まとめて選択したり選択解除したりできます。項目を選択し終えたら  (完了) を押します。ファイル暗証番号入力画面が表示されます。

6 バックアップファイル用の暗証番号を入力する

半角英数字、半角記号で4～8文字の範囲で入力します。この暗証番号は、バックアップファイルを復元するときに必要になります。

7 を押す

「バックアップしますか?」と表示されます。

8 で「Yes」を選択し、を押す

バックアップ終了後、「完了しました」と表示されます。

お知らせ

- バックアップを行うには、本電話機にmicroSDカードが取り付けられている必要があります。
- バックアップデータは、microSDカードの「バックアップデータ」フォルダの「メールBOXバックアップ」、「電話帳バックアップ」、「スケジュールバックアップ」、「ブックマークバックアップ」のうち該当するフォルダに保存されます。
- バックアップデータの名前は、バックアップ開始時点の年月日時分が使用されます。
- 電話帳のバックアップでは、シークレットが「ON」で登録されているデータもバックアップされます。

■データを復元する

microSDカードにバックアップしたデータを読み込み、本体の元の場所に取り込みます。復元を行うと、該当するフォルダのデータは削除され、バックアップデータによって上書きされます。

1 待ち受け画面で を押す

2 (メニュー) を押し、 (バックアップメニュー) を押す

3 指紋認証または暗証番号認証を行う

「指紋や暗証番号で認証を行う」(※P 11-11 ページ)、「暗証番号で認証を行う」(※P 11-12 ページ) 認証されると、バックアップメニューが表示されます。

4 (復元) を押す

5 ~ のいずれかを押し、復元対象を選択する

6 で復元するバックアップデータを選択し、 を押す

ファイル暗証番号入力画面が表示されます。

7 バックアップ時に入力した暗証番号を入力し、 を押す

「~を復元しますか?」と表示されます。

8 で「Yes」を選択し、 を押す

データが復元され、「完了しました」と表示されます。

ご注意

- 復元を行うと、該当するフォルダのデータは削除され、バックアップデータによって上書きされます。例えば、メールBOXの復元を行うと、受信BOX、未送信BOX、送信BOXの内容はすべてバックアップ時点の状態に戻ることになります。
- 電話帳の復元を行うと、画像、指定電話着信音、指定Eメール着信音、指定ライトメール着信音、指定電話着信イルミネーション、指定Eメール着信イルミネーション、指定ライトメール着信イルミネーションはお買い上げ時の設定に戻ります。
- スケジュールの復元を行うと、スケジュール音はお買い上げ時の設定に戻ります。
- WX310Jのバックアップデータについては、メールBOX以外は本電話機で復元することができます。この場合は、ファイル暗証番号は不要です。
- 本電話機のバックアップデータをWX310Jで復元することはできません。

国際ローミングを利用する（国際ローミング）

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイ、ベトナムでも利用できるようになります。

サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)

▶ 台湾で使用するには

- 本電話機のローミングモードを「台湾」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」(※同じページ内です。)
- ローミング用の電話番号を本電話機に登録しておくことができます。「台湾のローミング電話番号を登録する」(※13-92ページ)

▶ タイまたはベトナムで使用するには

- ローミング情報を登録します。「タイ/ベトナムのローミング情報を登録する」(※13-92ページ)
- 本電話機のローミングモードを「タイ」または「ベトナム」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」(※同じページ内です。)

ローミングモードに切り替える

台湾、タイまたはベトナムで本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。

タイまたはベトナムに切り替えるには、あらかじめローミング情報を登録しておく必要があります。「タイ/ベトナムのローミング情報を登録する」(※13-92ページ)

1 待ち受け画面で を押す

2 (国際ローミング) を押す

3 (国・地域/事業者選択) を押す

4 (台湾/大衆電信 (FITEL))、 (タイ/TRUE)、 (ベトナム/VNPT) のいずれかを押す

「接続先を切り替えますか?」と表示されます。

▶ 日本へ切り替えるには

 (日本/(WILLCOM)) を押します。

5 で「Yes」を選択して、 を押す

ローミングモードに切り替わり、「設定しました」と表示されます。

ローミングモードでは、待ち受け画面に「」が点灯します。

お知らせ

- ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
 - ・位置情報機能
 - ・安全運転モード(ネットワーク応答、ネットワーク応答+留守電)
 - ・発信者番号付加機能(184、186)
 - ・非通知ガード
 - ・分計発信
 - ・ライトメール
 - ・完全消去+初期化
- ローミングモードを切り替えると、本電話機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。また、切り替えの際、60秒以内の時刻の誤差が生じます。ひんぱんに切り替えを行うと誤差が大きくなりますのでご注意ください。

台湾のローミング電話番号を登録する

台湾で使用する場合は、ローミング用の電話番号を忘れないように本電話機に登録します。登録したローミング用の電話番号は、待ち受け画面で を押すと示されます。「プロフィールを表示する」(※P 13-5ページ)

ローミング用の電話番号をお客様が確認するための機能です。本電話機にローミング用の番号を書き込む操作とは異なります。台湾またはタイで本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。

1 待ち受け画面で を押す

2 (国際ローミング) を押す

3 (ローミング情報登録) を押す

4 (台湾) を押す

5 ローミング電話番号を入力する

▶ すでに登録済みのローミング電話番号を修正するには

を押して登録されている電話番号を削除し、再度入力します。

6 を押す

ローミング電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- ローミング用の電話番号は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際に、ウィルコムよりご案内いたします。

タイ／ベトナムのローミング情報を登録する

タイまたはベトナムで使用する場合は、以下のローミング情報を登録します。

- 登録日時
- ローミング先PS-ID
- PS番号
- ローミング電話番号
- 暗証番号

自動でローミング情報を登録する

ウィルコムにタイまたはベトナムでのローミングサービスをお申し込みになると、ウィルコムからローミング登録用ライトメールが送信されます。ローミング登録用ライトメールを受信すると、ローミング情報は自動的に本電話機に登録されます。

ローミング登録用ライトメールは、自動的に保護設定になります。「メールを保護する」(※P 8-28ページ)海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、手動でローミング情報を登録することもできます。

お知らせ

- ウィルコムからのローミング登録用ライトメールは、ローミング終了まで大切に保管してください。
- 受信したライトメールの保護件数は10件までです。すでにライトメールの保護件数が10件ある場合、ローミング登録用ライトメールは保護設定となりません。
- ローミング情報登録画面で、ローミング情報の内容を確認することもできます。

手動でローミング情報を登録する

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、以下の手順でローミング情報を登録します。

1 待ち受け画面で を押す

2 (国際ローミング) を押す

3 (ローミング情報登録) を押す

4 (タイ)または (ベトナム) を押す

5 (ローミング先PS-ID) を押し、ローミング先PS-IDを入力する

6 を押す

7 (PS番号) を押し、PS番号を入力する

8 を押す

9 (ローミング電話番号) を押し、ローミング電話番号を入力する

10 を押す

11 (暗証番号) を押し、暗証番号を入力する

12 を押す

13 タイのローミング情報登録画面で、 (登録) を押す

ローミング情報が登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- ローミング情報は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内いたします。
- ローミング電話番号は、待ち受け画面で を押して確認することができます。「プロフィールを表示する」(※P.13-5ページ)
- ローミング情報を消去した場合は、タイ/ベトナムでのご使用ができなくなりますのでご注意ください。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードでのご利用時に日本など、他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本電話機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

ここでは日本に電話をかける場合の例で説明をします。

1 待ち受け画面で を押す

選択した国や地域で割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2 「81」(日本の国番号)を入力する

3 相手の電話番号から先頭の「0」を除いた番号を入力する

例えば、相手の番号が「070-1234-XXXX」の場合、「701234XXXX」と入力します。

4 を押す

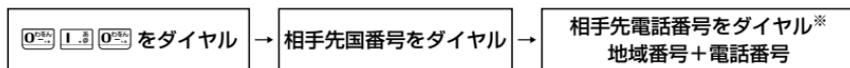
お知らせ

- 待ち受け画面で、相手の国番号と電話番号(先頭の0を除く)を入力してから、先頭に国際プリフィックス番号を付けることもできます。電話番号の入力後、 (メニュー) を押し、 (国際プリフィックス) を押します。

国際電話をかける（ウィルコム国際電話サービス）

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。

相手先電話番号の前に、010と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。



※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

例) ニューヨークの123-4567へかけるとき

010	→	1	→	212	→	123-4567
国際電話である ことを示す番号		アメリカの 国番号		ニューヨーク の地域番号		相手の 電話番号

お知らせ

- 国際電話の通話料は、30秒単位での課金となります。
- 国際電話料金（非課税）は、毎月ウィルコムご利用料金と合算してのご請求となります。
- 通話相手先の国や地域によっては、現地事業者の設備の都合により接続できない場合があります。
- 国際電話のご利用にあたっては、毎月のご利用限度額10,000円（非課税）が設定されています。超過した場合はライトメールでお知らせいたします。ご利用限度額の設定解除などを希望される場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ウィルコムの子供を利用する

料金分計サービスを利用する（有料）

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を2箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。料金分計サービスを使うには、あらかじめ契約が必要です。

料金分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。「待受モードを切り替える（待受モード設定）」（※14-3ページ）

なお、ライトメールや、フレックスチェンジ方式・パケット方式でのデータ通信、CLUB AIR-EDGEへの接続および国際ローミングモードでのご利用は、分計サービスの対象外です。

詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（※A-10ページ）

分計サービスを使って電話をかける

1 相手の電話番号を入力する

2 （メニュー）を押す

3 （料金分計）を押す

画面上部に「分計」と表示されます。

4 （発信）または を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

お知らせ

- 先に  を押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード（公衆+オフィス）に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは、分計発信ではなく通常の発信になります。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度手順2～4の操作を行ってください。分計発信の設定が解除され、画面から「分計」という表示が消えます。
- 「184」または「186」を付けて、分計発信することもできます。「発信者番号通知を設定する（番号通知設定）」（※11-2ページ）

便利な使いかた

発信履歴／着信履歴／メモから料金分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面から、 で発信履歴画面または着信履歴画面を表示する

2 必要に応じて、 で発信履歴画面／着信履歴画面／メモ画面を切り替える

3 でかけたい電話番号を選択し、 を押す

「記録されている電話番号にかける（発信履歴／着信履歴／番号メモ）」（※7-5ページ）

4 （メニュー）を押す

ウィルコムのサービスを利用する

5 (料金分計) を押す

画面上部に「分計」と表示されます。

6 (発信) または を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

電話帳から分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面で を押す

電話帳の一覧画面が表示されます。 でも、同じ操作ができます。

4 (料金分計) を押す

画面上部に「分計」と表示されます。

2 電話をかける相手を選択する

「電話帳を使って電話をかける」(※7-52ページ)

5 (発信) または を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

3 (メニュー) を押す

留守番電話サービスを利用する (有料)

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)

■留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「」と留守録がある旨と表示されます。

リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信ランプが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「着信ランプを設定する」(※13-12ページ)

お知らせ

- 留守番電話サービスはライトメールなどの文字メッセージを受けることはできません。
- 留守番電話サービスは、着信転送サービスと同時にご利用になれません。「着信転送サービスを使う」(※13-97ページ)

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

1 待ち受け画面で を押す

2 (留守番電話 (NW)) を押す

3 (留守再生) を押す

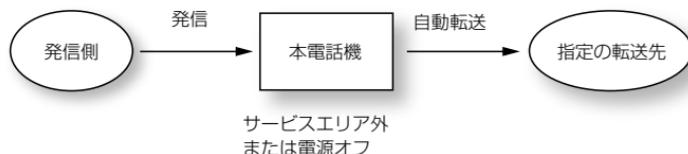
留守番電話センターにつながります。音声ガイドンスに従って操作してください。メッセージがすべて再生、または消去されると、待ち受け画面の「」の表示が消えます。

お知らせ

- メッセージが保存されているときに  を押すか、または「*9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- プッシュ音の出せる一般電話や公衆電話から「0077-780-931」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- 留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)

着信転送サービスを使う

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、一般電話、公衆電話などから行います。



着信転送サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)

お知らせ

- 日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- 転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

